

# データ編



# I 事業実績

## 1 教育委員会

### (1) 教育委員会開催状況

#### ア 月別開催状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	22
臨時会				1									1
協議会	2	2	2	1	2	1	2	2	2	2	2	1	21
計	4	4	4	4	4	2	4	4	4	4	4	2	44

#### イ 事項別付議状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
条例の制定・改廃								1					1
規則等の制定・改廃	1			1		2				3	4	14	25
人事案件	3	5	1			1	1		1		1	3	16
その他の案件		1	2		5		2	4	1		1	2	18
請願・陳情					1	1		2					4
協議	1		1	1			4		1		1	1	10
報告	10	12	9	8	7	3	11	2	7	5	11	5	90
計	15	18	13	10	13	7	18	9	10	8	18	25	164

## ウ 個別審査事項一覧

年月日・会議名	付 議 事 案	
令和4年4月11日 第6回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	多摩市教育委員会感謝状の贈呈状況について
	教育長報告3	令和4年第1回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告4	多摩市図書館協議会委員の解嘱及び委員の決定について
	教育長報告5	不登校特例校（岐阜市立草潤中学校）の視察について
	教育長報告6	市立学校のいじめに関する報告について
	第18号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の委嘱について
令和4年4月25日 第7回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	令和3年度下半期多摩市教育委員会後援名義使用承認について
	教育長報告3	令和3年度下半期における多摩市教育委員会関係の市政情報の公開請求、個人情報の開示請求の状況について
	教育長報告4	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和3年度の取り組みの実施評価について
	第19号議案	多摩市文化財保護審議会委員の委嘱について
	第20号議案	令和5年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる多摩市教科用図書選定協議会委員の任命及び委嘱について
	第21号議案	多摩市公立学校運営連絡協議会設置要綱を廃止する要綱の制定について
	協議1	令和4年度多摩市教育委員会事務点検評価について
令和4年5月9日 第8回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和3年度の取り組みの実施評価について
	教育長報告3	令和4年度多摩市立小中学校の教育課程について
	教育長報告4	市立学校のいじめに関する報告について
	承認第2号	多摩市公立学校教職員定期異動（令和4年4月1日）について教育長の専決により処理したことの承認を求めることについて
	承認第3号	指導主事の人事（令和4年4月1日）について教育長の専決により処理したことの承認を求めることについて
	承認第4号	東京都教育委員会の課長級等の人事（令和4年4月1日）について教育長の専決により処理したことの承認を求めることについて
	第22号議案	令和5年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会への諮問について
令和4年5月23日 第9回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	令和4年第1回多摩市議会臨時会の報告について
	教育長報告3	多摩第三小学校の整備の方向性について
	教育長報告4	ベルブ永山を活用した庁舎狭隘化対策の方針について
	教育長報告5	多摩市立中央図書館管理運営方針（骨子案）について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	教育長報告 6	令和 4 年度 児童・生徒数、学級数について
	教育長報告 7	学校給食異物混入（令和 3 年度分）について
	教育長報告 8	令和 4 年 3 月多摩市立中学校卒業生の進路状況について
	第 2 3 号議案	多摩市みどりと環境審議会委員への教育委員会委員の推薦について
	第 2 4 号議案	多摩市総合計画審議会委員への教育委員会委員の推薦について
令和4年6月6日 第 10 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩ふるさと資料館内・展示室 3 の公開について
	教育長報告 3	「令和 4 年度多摩市立図書館事業計画」について
	教育長報告 4	令和 4 年 5 月 1 日現在 児童・生徒数、学級数推計（通常の学級）について
	教育長報告 5	令和 3 年度 学校給食費の納付状況について
	第 2 5 号議案	多摩中央公園改修整備・運営事業における公募設置等計画の認定及び実施協定の締結等について
令和4年6月27日 第 11 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	「日本におけるモダン・ムーブメントの建築 2 6 4 選」の選定について
	教育長報告 3	令和 4 年度中学校英語スピーキングテスト E S A T - J（イーサット・ジェイ）について
	教育長報告 4	「子供を笑顔にするプロジェクト」について
	第 2 6 号議案	令和 4 年度第 1 回多摩市総合教育会議での協議・調整事項等に係る資料について
	第 2 7 号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の委嘱について
	協議 1	多摩市就学援助費補助要綱（平成 3 年 3 月 3 0 日多摩市告示第 1 2 8 号）の一部改正について
令和4年7月8日 第 1 回臨時会	教育長報告 1	多摩市立学校における事案について
令和4年7月11日 第12回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 4 年第 2 回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 3	令和 3 年度公民館事業の状況について
	第 2 8 号議案	多摩市立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	協議 1	令和 4 年度多摩市教育委員会事務点検評価について
令和4年7月26日 第13回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市就学援助費補助要綱（平成 3 年 3 月 3 0 日多摩市告示第 1 2 8 号）の一部改正について
	教育長報告 3	令和 5 年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択に係る多摩市教科用図書選定協議会からの答申について
	教育長報告 4	多摩市立学校における事案について
令和4年8月8日 第 14 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称公募について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	教育長報告 3	学校における I C T 機器と健康に関するアンケート（令和 4 年 7 月度）結果について
	第 2 9 号議案	多摩市立中央図書館管理運営方針（素案）について
	第 3 0 号議案	令和 5 年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択について
	第 3 1 号議案	令和 5 年度使用多摩市立小学校教科書の採択について
	第 3 2 号議案	令和 5 年度使用多摩市立中学校教科書の採択について
令和4年8月22日 第15回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 4 年第 2 回多摩市議会臨時会の報告について
	教育長報告 3	都指定史跡用地に関する申し出について
	教育長報告 4	令和 4 年度全国学力・学習状況調査の結果について
	第 3 3 号議案	多摩中央公園・旧富澤家における指定管理者の指定について
	4 請願第 1 号	学校給食の牛乳に関する陳情について
令和4年9月29日 第 16 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	学校における I C T 機器と健康に関するアンケート（令和 4 年 7 月度）結果の訂正について
	教育長報告 3	令和 3 年度教育センター活動報告書について
	第 3 4 号議案	多摩市教育委員会事務局設置規則の一部を改正する規則の制定について
	第 3 5 号議案	（仮称）多摩市立中央図書館内カフェ出店候補者選定審査委員会設置要綱の制定について
	第 3 6 号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について
	4 請願第 1 号	学校給食の牛乳に関する陳情について（継続審議）
令和4年10月11日 第17回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 3 年度多摩市立図書館事業報告について
	教育長報告 3	個人情報取り扱いに関する事故について
	教育長報告 4	令和 4 年度 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果報告について
	教育長報告 5	令和 4 年度 自己の進路選択のための説明・相談会の開催について
	第 3 7 号議案	令和 4 年度上半期多摩市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
	協議 1	令和 4 年度多摩市教育委員会事務点検評価報告書について
令和4年10月24日 第18回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 4 年第 3 回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 3	令和 4 年度上半期 多摩市教育委員会後援名義使用承認について
	教育長報告 4	令和 4 年度上半期多摩市教育委員会関係市政情報の公開請求、個人情報の開示請求の状況について
	教育長報告 5	令和 3 年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	教育長報告 6	令和 4 年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算書について
	承認第 5 号	副校長の任命について教育長の専決により東京都教育委員会に内申したことの承認を求めることについて
	第 3 8 号議案	令和 4 年度多摩市教育委員会事務点検評価報告書について
	協議 1	令和 4 年度第 2 回多摩市総合教育会議に提出する申出書について
	協議 2	多摩市立中央図書館管理運営方針について
	協議 3	多摩市図書館条例の一部を改正する条例の制定について
令和4年11月7日 第19回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	第 3 9 号議案	令和 4 年度第 2 回多摩市総合教育会議に提出する申出書について
	第 4 0 号議案	令和 4 年度第 2 回多摩市総合教育会議での協議・調整事項等に係る資料について
	第 4 1 号議案	東京都指定史跡「稲荷塚古墳」用地の寄附の受入れについて
	第 4 2 号議案	多摩市立中央図書館管理運営方針について
	第 4 3 号議案	多摩市図書館条例の一部を改正する条例の制定について
	4 請願第 2 号	教育施設においてゲノム編集トマトの苗を受け取らないことを求める陳情について
令和4年11月21日 第20回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	4 請願第 2 号	教育施設においてゲノム編集トマトの苗を受け取らないことを求める陳情について（継続審議）
令和4年12月13日 第21回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市教育委員会感謝状の贈呈状況について
	教育長報告 3	多摩第三小学校建替事業 第一回地域懇談会報告について
	教育長報告 4	「令和 3 年度多摩市立図書館事業評価」について
	教育長報告 5	令和 4 年度小学校水泳指導外部委託事業の試行に関する検証結果について
	協議 1	多摩市就学援助費補助要綱（平成 3 年 3 月 3 0 日多摩市告示第 1 2 8 号）の一部改正について
令和4年12月26日 第22回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	学校給食費の納付状況について
	第 4 4 号議案	多摩市教育委員会事務局組織等の改正にかかる協議について
	第 4 5 号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について
令和5年1月10日 第 1 回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和 4 年第 4 回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 3	多摩市教育委員会事務局組織等の改正の協議回答について

年月日・会議名	付 議 事 案	
令和5年1月23日 第2回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	(仮称)多摩市立中央図書館内カフェ出店候補者選定に係るプロポーザル審査結果報告書について
	第1号議案	多摩市立図書館処務規程の一部を改正する規程の制定について
	第2号議案	多摩市立図書館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第3号議案	多摩市立図書館講座室等の管理運営に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
令和5年2月6日 第3回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	多摩第三小学校建替事業 第2回地域懇談会報告について
	教育長報告3	多摩市就学援助費補助要綱(平成3年3月30日多摩市告示第128号)の一部改正について
	教育長報告4	第三期校務支援システム更新の完了について
令和5年2月20日 第4回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	令和5年度当初予算原案の概要について
	教育長報告3	多摩第三小学校建替事業 第3回地域懇談会報告について
	教育長報告4	多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称について
	教育長報告5	「東京都指定無形民俗文化財(民俗技術)」の指定について
	教育長報告6	多摩市立中央図書館建設工事の進捗状況等について
	教育長報告7	令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書について
	承認第1号	校長及び副校長の任命について教育長の専決により東京都教育委員会に内申したことの承認を求めることについて
	第4号議案	令和4年度下半期多摩市教育委員会表彰被表彰者の決定について
	第5号議案	多摩市教育委員会が管理する行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第6号議案	多摩市立学校給食センターの給食費等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第7号議案	令和6年度使用多摩市立小学校教科用図書採択要綱の制定について
	第8号議案	令和6年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要綱の制定について
協議1	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和5年度の取り組みについて	
令和5年3月27日 第5回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	ヤングケアラーに関する実態調査報告書について
	教育長報告3	「遊々の森における体験活動に関する協定書」の締結について



年月日・会議名	付 議 事 案	
	教育長報告 4	学校給食における飲用牛乳の対応について
	教育長報告 5	学校における I C T 機器と健康に関するアンケート（令和 5 年 1 月度）結果について
	承認第 2 号	多摩市公立学校教職員定期異動、指導主事及び東京都教育委員会の課長級の人事（令和 5 年 4 月 1 日）を教育長の専決により処理したことの承認を求めることについて
	第 9 号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について
	第 1 0 号議案	令和 4 年度下半期多摩市教育委員会表彰被表彰者の一部変更について
	第 1 1 号議案	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和 5 年度の取り組みについて
	第 1 2 号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の解嘱及び委嘱について
	第 1 3 号議案	多摩市教育委員会が管理する情報システムの管理運営に関する規則等の一部を改正する規則の制定について
	第 1 4 号議案	多摩市教育委員会における多摩市自治基本条例の施行に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 1 5 号議案	多摩市公立学校における事案決定等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
	第 1 6 号議案	多摩市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
	第 1 7 号議案	多摩市教育委員会事務局文書管理規程の一部を改正する規程の制定について
	第 1 8 号議案	多摩市公立学校職員服務規程等の一部を改正する規程の制定について
	第 1 9 号議案	多摩市教育委員会行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 2 0 号議案	多摩市図書館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
	第 2 1 号議案	多摩市立図書館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 2 2 号議案	多摩市図書館協議会規則の一部を改正する規則の制定について
	第 2 3 号議案	多摩市立図書館処務規程の一部を改正する規程の制定について
	第 2 4 号議案	多摩市立図書館の管理運営に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
	第 2 5 号議案	多摩市立図書館障がい者等サービス事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
	第 2 6 号議案	多摩市立図書館読書活動等支援事業実施要綱の制定について
	協議 1	多摩第三小学校建替基本構想（素案）について

## (2) 総合教育会議

年月日・会議名	協議・調整事項
令和4年7月11日 令和4年度第1回多摩市総合教育会議	・中央図書館管理運営について ・多摩第三小学校の整備の方向性について
令和4年11月21日 令和4年度第2回多摩市総合教育会議	・令和5年度教育委員会の重点事項について

## (3) 事務点検評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その報告書を市議会へ提出し、公表している。

令和4年度は、以下の10事業の評価を行った。

- ・英語教育の推進、グローバル人材の育成
- ・キャリア教育、体験学習の充実
- ・部活動の環境整備
- ・学校情報環境整備事業（ICT事業）の充実
- ・学習情報の効果的な発信
- ・授業改善推進プランに基づく授業の実施
- ・ESDによる資質、能力の育成
- ・郷土の歴史や文化財に対する学習機会の充実
- ・学校開放による団体、地域活動等の支援
- ・学校評価を生かした学校運営の向上

## (4) 教育訪問

教育委員が、学校等の教育機関を訪問し、実態を把握することによって教育行政に反映させるとともに、教育機関との連携を一層緊密にするため実施している。

令和4年度は、次のとおり実施した。

回	実施日	訪問場所
1	10月31日	多摩第三小学校、愛和小学校、東愛宕中学校
2	11月14日	北諏訪小学校、諏訪小学校、諏訪中学校
3	1月16日	多摩第二小学校、和田中学校
4	1月30日	貝取小学校、豊ヶ丘小学校、青陵中学校
5	2月13日	永山小学校、瓜生小学校、多摩永山中学校

## (5) 教育委員会表彰

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
表彰者・団体数 (件)	14	14	18	17	29

### 令和4年度被表彰者（敬称略）

No.	氏名(団体名)	業 績	表彰式
	<b>上半期表彰</b>		
1	梅澤 佳子	永年勤続（学びあい育ちあい推進審議会委員）	令和4.11.21
2	青木 ひとみ	永年勤続（学びあい育ちあい推進審議会委員）	令和4.11.21
3	安孫子 昭二	永年勤続（文化財保護審議会委員）	令和4.11.21
4	金丸 和子	永年勤続（文化財保護審議会委員）	令和4.11.21
5	坪郷 英彦	永年勤続（文化財保護審議会委員）	令和4.11.21
6	高久 里子	長年にわたり多摩市立東愛宕中学校に無償で生け花を設置し、生徒の情操に寄与	令和4.11.21
7	多摩フレンズベース ボールクラブ	阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会2022 優勝	令和4.11.21
8	松田 涉 (東寺方小2年)	第12回日本バッハコンクール全国大会 小学1・ 2年A部門 金賞	令和4.11.21
9	梅村 心美 (北諏訪小5年)	公益財団法人日本書道教育学会主催令和4年書初不 二誌上展 特選	令和4.11.21
10	梅村 悠一郎 (北諏訪小2年)	公益財団法人日本書道教育学会主催令和4年書初不 二誌上展 特選	令和4.11.21
11	米崎 遠和子 (多摩中3年)	第46回関東中学校水泳競技大会 女子100mバ タフライ 第2位	令和4.11.21
12	園田 瑞季 (諏訪中2年)	第79回全国舞踊コンクール バレエ第2部 第1 位	令和4.11.21
13	多摩市立諏訪中学校 陸上部女子リレーチ ーム	東京ライジングスター陸上2022 女子中学4× 100mリレー 第1位	令和4.11.21
14	村松 碧 (諏訪中3年)	第50回関東中学校陸上競技大会 女子共通200 m 第5位	令和4.11.21

No.	氏名(団体名)	業 績	表彰式
15	多摩市立落合中学校 男子テニス部	第49回全国中学生テニス選手権大会 男子団体 ベスト16	令和4.11.21
16	川口 孝幸 (落合中3年)	第75回関東中学生テニス選手権大会 男子シング ルス 準優勝 第49回全国中学生テニス選手権大会 男子シング ルス 準優勝	令和4.11.21
17	川口 孝大 (落合中1年)	ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権2022 U12男子シングルス 優勝 U12男子ダブルス 優勝	令和4.11.21
18	水町 騎士 (落合中2年)	第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ 13～14歳男子 200m個人メドレー 第5位 13～14歳男子 400m個人メドレー 第3位 など	令和4.11.21
19	栗山 現太 (落合中1年)	第1回沖縄空手少年少女世界大会 上地流系の部 少年I ベスト16	令和4.11.21
20	由良 泰羅 (大松台小4年)	第1回沖縄空手少年少女世界大会 上地流系の部 少年少女II 金賞 古武道(棒)の部 少年少女II 銅賞	令和4.11.21
21	笹原 和夏 (大松台小2年)	第1回沖縄空手少年少女世界大会 上地流系の部 少年少女I 金賞	令和4.11.21
22	菅谷 美結 (大松台小4年)	第1回沖縄空手少年少女世界大会 上地流系の部 少年少女II ベスト16 古武道(棒)の部 少年少女II ベスト8	令和4.11.21
23	峯岸 凜太郎 (南鶴牧小5年)	第1回沖縄空手少年少女世界大会 上地流系の部 少年少女III 銀賞 古武道(棒)の部 少年少女III ベスト8	令和4.11.21
24	後藤 あこ (南鶴牧小6年)	USA All Star Nationals 2022 Junior 編成 Cheerleading 部門 LEVEL2 Small 第3位 The Summit 2022 出場 など	令和4.11.21
25	小長井 聡介 (南鶴牧小5年)	第65回全国学芸サイエンスコンクール 読書感想 文部門 小学生の部 旺文社赤尾好夫記念賞 第6回全国小中学生プログラミング大会 小学生高 学年部門 優秀賞	令和4.11.21
26	名取 蓮空 (豊ヶ丘小5年)	第1回沖縄空手少年少女世界大会 上地流系の部 少年少女III ベスト16	令和4.11.21

No.	氏名 (団体名)	業 績	表彰式
27	下半期表彰 羽入田 陽一郎	永年勤続 (学校医)	令和5.3.27
28	菅 祝子	永年勤続 (学校薬剤師)	令和5.3.27
29	多摩市立連光寺小学校 学校運営協議会 多摩市立連光寺小学校 地域学校協働本部	学校と地域が一体となってSDGsの達成につながる活動を推進し地域教育力の向上及び地域コミュニティの醸成に貢献	令和5.3.27

令和4年度上半期教育委員会表彰受賞者のみなさん

【 第 1 部 】



【 第 2 部 】



令和4年度下半期教育委員会表彰受賞者のみなさん





## 2 学 校 教 育

### (1) 学校情報環境整備事業

本事業は、1「子どもにとってわかりやすい授業の提供」、2「教職員の校務・教務の負担軽減」の2つの目的のため、情報システム及びこれに付随する機器やサポートの提供を行う。

1「子どもにとってわかりやすい授業の提供」については、平成21年度に国の補正予算による補助金を活用し、デジタルテレビ等の大型提示装置等のICT\*機器を小・中学校全校に整備したことを皮切りに、平成25～28年度までの4か年で小・中学校の全校へ児童・生徒が利用する教育用タブレット端末の整備を行ってきた。これにより、児童・生徒の情報活用能力の向上を図るとともに、分かりやすい授業の実現に寄与し、児童・生徒の授業への関心も高まっている。

平成30・令和元年度においては、教育用タブレット端末の老朽化に伴い機器の更新を行うとともに、教員用や特別支援学級用など配慮が必要となる児童・生徒に向けての追加整備を行った。また、大型提示装置は多機能な電子黒板へ更新した。

令和2年度においては、文部科学省が掲げる国策事業「GIGAスクール構想」に対応するとともに、コロナ禍で子どもたちの学習保障の必要性が高まる中で、平成29年度に策定した『多摩市学校情報環境整備方針』を改訂し、児童・生徒1人1台の教育用タブレット端末を整備した。また、全普通教室へ大型提示装置（プロジェクター）を整備することで、教育用タブレット端末を中心とするICT機器の活用を促進するための環境を実現した。コロナ禍に伴う臨時休校に対応する際には、インターネット環境のない家庭へモバイルルーター等の貸し出しを行い、ICT機器を生かした家庭学習の支援についても対応を行った。これらの整備に当っては、国庫及び東京都の補助金・交付金を活用した。

教育用タブレット端末等を効果的に活用するための支援として、各学校へ専門知識を有するICT支援員の派遣委託を継続して行った。令和3年度から1人1台の教育用タブレット端末が本格的に稼働しており、令和4年度も引き続き、各学校での活用推進の支援を実施した。（令和3年度の実績は次頁の表「ICT支援員の支援（サポート実績）」のとおり）

2「教職員の校務・教務の負担軽減」については、同じく平成21年度の補助金を活用することで、校務支援システムを導入し、小・中学校教職員1人1台のパソコンをはじめとした機器等の整備を行った。校務事務等をシステムで一括管理することにより、校務事務の軽減や効率化を図り、教職員の負担の軽減を進め、教職員が子どもと向き合う時間の創出を図っている。その後、平成28年度に引き続き、令和4年度にも校務支援システムの機器・ソフトの更新を予定しており、さらなる校務事務の負担を軽減するための取り組みを行っている。

※ICT・・・情報通信技術（Information and Communication Technology）。コンピュータを使った情報処理や通信技術の総称

ICT支援員の支援（サポート実績）

年 度	臨時職員による総合サポート対応			業務委託による教職員の授業サポート対応		
	回数	時間数	主な内容	回数	時間数	主な内容
30	395	1,734	・ICT機器を活用する授業の準備の補助、操作支援、授業事例の紹介、研修の補助 ・校務支援システムの操作に関する支援 ・その他、ICT教育に係る支援（教材作成支援等）	200	1,397	・ICT機器を活用した授業等に関する支援 ・教職員のICTスキルを高めるための支援 ・ICT機器、校務支援用PC等の不具合時の支援 ・その他業務支援（研究授業、ホームページ支援等）
元	301	1,291		903	6,323	
2				1,042	7,295	
3				632	4,428	
4				592	4,141	

（注）業務委託によるICT支援員派遣は平成30年9月から7校、令和元年9月から19校に開始した。

小・中学校における教育用タブレット端末及び電子黒板等（プロジェクター含む）の台数一覧  
（令和5年3月末日時点）

学校名	タブレット台数	電子黒板等台数	学校名	タブレット台数	電子黒板等台数
多摩第一小学校	682	26	貝取小学校	285	19
多摩第二小学校	560	26	豊ヶ丘小学校	280	14
多摩第三小学校	376	19	愛和小学校	398	18
連光寺小学校	393	18	多摩中学校	508	24
北諏訪小学校	557	23	東愛宕中学校	250	13
東寺方小学校	574	26	和田中学校	462	20
南鶴牧小学校	578	26	諏訪中学校	385	17
聖ヶ丘小学校	334	18	聖ヶ丘中学校	308	15
西落合小学校	491	21	鶴牧中学校	496	20
大松台小学校	527	23	多摩永山中学校	348	15
諏訪小学校	493	24	落合中学校	410	20
永山小学校	428	22	青陵中学校	373	19
瓜生小学校	230	13	教育センター	8	2
東落合小学校	383	20	<b>総合計</b>	<b>11,117</b>	<b>521</b>



## (2) 条件付学校希望制（通常の学級）

多摩市では住所に基づいて就学する学校を指定している（指定校という）が、一定の条件に該当する場合には指定校以外の学校へ就学を希望できる条件付学校希望制を、平成25年度より実施している。

翌年度の新1年生については、10月頃に申請受付を行い、希望者が受入上限人数を超えた学校については、11月中旬に公開抽選を実施する。在校生については、一定の条件に該当した場合（学区が変わる市内転居をしたが、転居前の在籍校に引き続き就学を希望する場合等）に条件付学校希望制の申請を受け付ける。なお、引き続き就学が可能な期間は学年により異なる。

令和5年度新1年生の就学状況

（令和5年4月7日時点）

	令和5年度入学 児童・生徒数	内 訳		
		学区内 居住者数	条件付学校希望制で 学区外から入学した人数	区域外就学で他市 から入学した人数
小学校	1,008人	988人	18人	2人
中学校	934人	904人	29人	1人

## (3) 区域外就学

区域外就学は、市外に転出した児童・生徒が引き続き多摩市の学校に就学することができる制度で、市立学校に引き続き就学するときは、教育委員会（学校支援課）にて「区域外就学願」の届出を行う。

令和4年度の区域外就学者数

（令和4年5月1日時点）

	他市区町村からの 区域外就学者数	他市区町村への 区域外就学者数	合計
小学校	3人	6人	9人
中学校	4人	8人	12人

## (4) 通学路の安全対策

教育委員会では、学校を通じて児童・生徒が通学する通学路の安全性を確認するとともに、通学途上の安全を確保するため、各種要望に対し現地調査を行い、通学路の警戒標識・通学路標識表示板（電柱巻きつけ標識）の設置等を行っている。

また、平成24年度からは関係所や多摩中央警察署と一緒に現地を確認する「通学路合同安全点検」を年1回実施している。

平成26年度から東京都通学路防犯設備整備補助金を活用し、小学校の通学路に防犯カメラを順次設置しており、平成30年度で全小学校への防犯カメラの設置が完了した。

なお、通学上、特に注意を必要とする箇所において、児童・生徒の安全指導を行う通学路安全整理業務従事者を委託により配置している。

指 導 員 等	人数
通学路安全整理業務従事者	8人

## (5) 学校基本調査

学校教育行政に必要な学校に関する基本事項について文部科学省が行う調査で、毎年5月1日を基準日として、小学校、中学校、高等学校、大学、幼稚園、専門学校を対象に実施される。教育委員会では公立小・中学校に関する調査に回答している。

調査の結果については、国や都の教育上の諸計画を策定するための基礎資料や地方交付税算定、国庫補助金算定のための基礎数値等として利用されている。

## (6) 多摩市外国人学校児童・生徒の保護者に対する補助金交付

外国人学校に在籍している在日外国人の児童・生徒の保護者に対し、経済的負担の軽減のために補助金の交付を行っている。

外国人学校児童・生徒保護者補助金交付者数

年 度	交 付 総 額	交付単価(月額)	申 請 者 数	交 付 者 数
3 0	48,000円	1,000円	4人	4人
元	24,000円	1,000円	2人	2人
2	24,000円	1,000円	2人	2人
3	24,000円	1,000円	2人	2人
4	24,000円	1,000円	2人	2人

## (7) 小・中学校への転入学及び児童・生徒数・学級数

### ア 転入学（転校）の手続き

多摩市への転入により多摩市立小・中学校に転入学する際や、学区域が変わる市内転居に伴って転校する際には、市民課での住民票の転入（転居）届とあわせて、教育委員会学校支援課で児童・生徒転（編）入学届を提出する。その後、教育委員会が発行する「転（編）入学通知書」と前学校が発行する「在学証明書」と「教科用図書給与証明書」を就学する学校に提出する。

なお、市内転居により学区域が変わったが、これまでの在籍校に引き続き就学したい場合には、条件付学校希望制の申請を行う。（項番2参照）

### イ 多摩市外の学校に転校の手続き

多摩市外に転出し、学校を転校するときは、在学している学校が発行する「在学証明書」と「教科用図書給与証明書」を持って、転出先の教育委員会にて必要な手続きを行う。

ウ 公立小学校・中学校の児童・生徒数及び学級数(通常の学級)

小学校

令和5年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
多摩第一小	91	3	82	3	103	3	96	3	103	3	118	3	593	18
多摩第二小	54	2	68	2	70	2	97	3	74	2	82	3	445	14
多摩第三小	66	2	66	2	69	2	51	2	46	2	48	2	346	12
連光寺小	60	2	49	2	66	2	67	2	68	2	50	2	360	12
北諏訪小	87	3	73	3	92	3	92	3	82	3	87	3	513	18
東寺方小	93	3	101	3	83	3	79	3	88	3	61	2	505	17
南鶴牧小	107	4	88	3	91	3	79	3	71	2	87	3	523	18
聖ヶ丘小	39	2	50	2	56	2	48	2	48	2	57	2	298	12
西落合小	64	2	53	2	77	3	76	3	72	2	76	2	418	14
大松台小	61	2	59	2	66	2	83	3	83	3	67	2	419	14
諏訪小	51	2	71	3	64	2	68	2	68	2	86	3	408	14
永山小	48	2	58	2	56	2	50	2	53	2	51	2	316	12
瓜生小	31	1	27	1	32	1	41	2	30	1	35	1	196	7
東落合小	52	2	46	2	55	2	65	2	50	2	48	2	316	12
貝取小	30	1	33	1	29	1	35	1	30	1	31	1	188	6
豊ヶ丘小	31	1	26	1	35	1	36	2	39	1	54	2	221	8
愛和小	43	2	41	2	57	2	63	2	49	2	62	2	315	12
小学校合計	1,008	36	991	36	1,101	36	1,126	40	1,054	35	1,100	37	6,380	220

中学校

令和5年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		合計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
多摩中	130	4	152	4	141	4	423	12
東愛宕中	58	2	66	2	62	2	186	6
和田中	121	4	139	4	122	4	382	12
諏訪中	112	4	120	3	110	3	342	10
聖ヶ丘中	88	3	104	3	89	3	281	9
鶴牧中	143	5	142	4	153	4	438	13
多摩永山中	76	3	99	3	105	3	280	9
落合中	125	4	107	3	111	3	343	10
青陵中	81	3	97	3	109	3	287	9
中学校合計	934	32	1,026	29	1,002	29	2,962	90

## エ 特別支援学級・特別支援教室の児童・生徒数

### (7) 特別支援学級（固定学級、通級指導学級）

小学校

令和5年5月1日現在

学校名	児童・生徒数							学級数				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	言語	難聴	知的	情緒	計
多摩第二小（にじ組）	9	4	11	7	10	9	50	—	—	—	7	7
北諏訪小（きこえ）	(0)	(0)	(1)	(2)	(0)	(0)	(3)	—	(1)	—	—	(1)
（ことば）	(4)	(14)	(11)	(10)	(5)	(2)	(46)	(3)	—	—	—	(3)
東寺方小（こま）	4	7	4	5	10	3	33	—	—	5	—	5
南鶴牧小（ふたば）	5	3	7	7	5	5	32	—	—	—	4	4
諏訪小（なかよし）	2	2	3	9	3	4	23	—	—	—	3	3
永山小（わかくさ）	5	8	5	10	4	5	37	—	—	5	—	5
東落合小（さくら4組）	4	6	1	2	4	4	21	—	—	3	—	3
貝取小（みどり）	4	4	7	4	8	6	33	—	—	—	5	5
小学校計	33 (4)	34 (14)	38 (12)	44 (12)	44 (5)	36 (2)	229 (49)	— (3)	— (1)	13 —	19 —	32 (4)

※カッコ内は通級指導学級

中学校

令和5年5月1日現在

学校名	児童・生徒数							学級数				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	言語	難聴	知的	情緒	計
多摩中（F組）	16	18	14	—	—	—	48	—	—	—	6	6
和田中（5組）	11	7	9	—	—	—	27	—	—	4	—	4
諏訪中（5組）	5	6	6	—	—	—	17	—	—	3	—	3
落合中（5組）	5	5	8	—	—	—	18	—	—	3	—	3
青陵中（5組）	11	17	8	—	—	—	36	—	—	—	5	5
中学校計	48	53	45	—	—	—	146	—	—	10	11	21

## (イ) 特別支援教室

小学校

令和5年5月1日現在

学校名		児童数						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
拠点校	多摩第一小学校	9	5	4	3	4	3	28
巡回校	多摩第二小学校	3	7	5	6	4	3	28
巡回校	東寺方小学校	5	9	13	5	10	7	49
拠点校	聖ヶ丘小学校	1	1	1	5	3	7	18
巡回校	連光寺小学校	5	5	1	5	3	2	21
拠点校	西落合小学校	4	5	6	5	5	4	29
巡回校	東落合小学校	2	7	0	5	10	2	26
拠点校	大松台小学校	5	3	3	16	8	4	39
巡回校	南鶴牧小学校	6	7	9	7	7	4	40
拠点校	諏訪小学校	0	3	2	5	3	4	17
巡回校	北諏訪小学校	4	2	3	6	4	5	24
拠点校	瓜生小学校	2	4	3	6	3	3	21
巡回校	永山小学校	0	3	7	2	2	8	22
拠点校	豊ヶ丘小学校	6	3	8	3	5	5	30
巡回校	貝取小学校	2	5	4	6	2	4	23
拠点校	愛和小学校	1	7	6	7	4	1	26
巡回校	多摩第三小学校	3	6	7	2	4	2	24
合計		58	82	82	94	81	68	465

中学校

令和5年5月1日現在

学校名		生徒数			
		1年	2年	3年	合計
巡回校	多摩中学校	1	3	2	6
巡回校	東愛宕中学校	2	2	2	6
巡回校	和田中学校	7	5	3	15
巡回校	諏訪中学校	7	5	1	13
巡回校	聖ヶ丘中学校	3	1	1	5
巡回校	鶴牧中学校	7	1	2	10
拠点校	多摩永山中学校	3	5	2	10
巡回校	落合中学校	5	2	7	14
巡回校	青陵中学校	5	6	2	13
合計		40	30	22	92

## (8) 学校保健

### ア 各種検査・健診状況

児童・生徒の健康管理及び健康の保持・増進を図るための健康診断として、次の検査を実施している。

#### (ア) 貧血検査

対象：女子 中学校2～3年生のうち、保護者の希望する者。

男子 中学校2～3年生のうち、中学校1（2）年生時に未受診で、保護者の希望する者。

（小5・中1については、小児生活習慣病予防健診で実施）

※令和2年度より対象者を変更した。

変更前：中学校2年生・3年生のうち、保護者の希望のある者

変更理由：中学校2年生・3年生の男子の「要受診」判定率が極めて低いため。ただし、男子について、小学校5年生、中学校1年生の小児生活習慣病予防健診時並びに中学校1年生・2年生で未受診の者は希望性とする事で機会を確保する。（多摩市学校保健会理事会にて決定）

方法：前肘部静脈採血により、血色素量、赤血球数、白血球数、ヘマトクリット値、MCV、MCH、MCHCを調べる。

目的：小児期の急激な身体の発育に伴う栄養素（特に鉄分）の不足等による無自覚性の貧血を早期に発見し、児童・生徒が健全な学校生活を送るための健康管理の一助とする。

#### (イ) 小児生活習慣病予防健診

対象：児童 小学校5年生で保護者が希望した者

小学校6年生で次に該当する者で保護者が希望した者

他地区からの転入者

生徒 中学校1年生で保護者が希望した者

中学校2・3年生で次に該当する者で保護者が希望した者

「中学校2・3年生の次年度経過観察者抽出基準」に該当した者

他地区からの転入者

方法：身長・体重計測値より肥満度の算出、血液検査（総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、貧血）、血圧測定

目的：子どもの生活習慣病のうち、動脈硬化、高血圧、高脂血症、肥満、痩せすぎ等の恐れのある児童・生徒を早期に発見し、健全な学校生活を送るための一助とする。

児童・生徒各種健康診断結果の年度別推移

年度	検査項目	小学校			中学校		
		検査人員 人	陽性者数 人	率 %	検査人員 人	陽性者数 人	率 %
30	貧血検査	1,003	10	1.00	2,247	81	3.60
	小児生活習慣病予防健診	1,010	—	—	819	—	—
元	貧血検査	980	12	1.22	2,231	91	4.08
	小児生活習慣病予防健診	989	—	—	912	—	—
2	貧血検査	1,009	10	0.99	1,620	87	5.37
	小児生活習慣病予防健診	1,011	—	—	937	—	—
3	貧血検査	881	9	1.02	1,587	88	5.55
	小児生活習慣病予防健診	884	—	—	891	—	—
4	貧血検査	856	15	1.75	1,534	116	7.56
	小児生活習慣病予防健診	862	—	—	914	—	—

イ 腎臓病検診（糖尿病検診）

若年者の無症候性の尿異常及び腎疾患並びに糖尿病の早期発見と定期的に健康状態を管理し、かつ、異常者を早期治療に導くために、昭和62年度から尿検査の1次、2次検査に3次検査を追加し、腎臓病検診（糖尿病検診）として検査を充実し、学校集団生活における健康管理に努めている。

対 象：児童・生徒

方 法：1次－蛋白、糖、潜血、pH（試験紙法）

2次－蛋白、糖、潜血、pH、陽性の場合沈査鏡検

3次－腎臓病……専門医による問診、診察、血圧の測定、検尿（早朝第1尿、昼間尿）、血液検査（ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球数、白血球数、CRP、総蛋白、A/G比、アルブミン、総コレステロール、尿素窒素（BUN）、クレアチニン）

糖尿病……専門医による診察、尿糖検査、血糖、HbA1c、GAD、GPT、トリグリセライド、インスリン、ブドウ糖負荷試験（医師の指示による）

児童・生徒腎臓病検診の年度別検診結果の推移

校種	年度	第一次検査受診者		第二次検査受診者		三次検査対象者 人	有所見者		有所見者の内訳													
		人	陽性者		人		陽性者		人	%	腎炎		腎炎の疑い		血尿		微小血尿		蛋白尿		尿路感染症	
			人	%			人	%			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
小学校	30	7,113	229	3.22	216	99	1.39	84	56	0.79					14	0.20	35	0.49	7	0.10		
	元	7,001	214	3.06	203	96	1.37	73	46	0.66			3	0.04	16	0.23	19	0.27	6	0.09	2	0.03
	2	6,972	169	2.42	161	60	0.86	48	34	0.49			1	0.01	17	0.24	11	0.16	4	0.06	1	0.01
	3	6,908	231	3.34	222	124	1.80	108	53	0.77					20	0.29	26	0.38	3	0.04	3	0.04
	4	6,668	196	2.94	183	77	1.15	61	49	0.73			4	0.06	13	0.19	20	0.30	5	0.07	6	0.09
中学校	30	2,926	193	6.60	178	74	2.53	60	23	0.79					4	0.14	7	0.24	9	0.31	1	0.03
	元	2,921	245	8.39	227	78	2.67	61	30	1.03					2	0.07	10	0.34	17	0.58	1	0.03
	2	3,013	221	7.33	205	61	2.02	49	26	0.86					7	0.23	9	0.30	8	0.27	1	0.03
	3	3,086	217	7.03	209	73	2.37	58	11	0.36					2	0.06	2	0.06	5	0.16	1	0.03
	4	3,080	220	7.14	207	70	2.27	59	30	0.97			2	0.06	2	0.06	5	0.16	21	0.68		

児童・生徒糖尿病検診の年度別検診結果の推移

校種	年度	第一次検査対象者		第二次検査対象者		対三次検査 対象者 人	有所見者		有所見者の内訳												
		人	陽性者		人		陽性者		人	%	糖尿病		糖尿病の疑い		その他						
			人	%			人	%			人	%	人	%	人	%					
小学校	30	7,113	9	0.13	7	2	0.03	1	0	0.00											
	元	7,001	4	0.06	3	1	0.01	0	0	0.00											
	2	6,972	6	0.09	5	1	0.01	1	0	0.00											
	3	6,908	6	0.09	5	3	0.04	3	0	0.00											
	4	6,668	7	0.10	6	1	0.01	0	0	0.00											
中学校	30	2,926	10	0.34	10	2	0.07	1	0	0.00											
	元	2,921	5	0.17	5	2	0.07	2	0	0.00											
	2	3,013	5	0.17	4	2	0.07	2	1	0.03	1	0.03									
	3	3,086	5	0.16	5	2	0.06	1	0	0.00											
	4	3,080	4	0.13	3	1	0.03	1	0	0.00											



## ウ 心臓検診

潜在的な心疾患を有する児童・生徒の発見及び手術済あるいはまだ管理されていない心疾患を有する児童・生徒の発見をし、正確適正な管理指導を行い、児童・生徒が健全な学校生活を送るための一助とする。

対 象：① 小学校1年生及び中学校1年生

② その他の学年の児童・生徒で、次に該当する者

イ 前年度以前の検診の結果で、次年度再検の指示があった者

ロ 学校医の指示のある者

ハ 他地区からの転入者で心臓検診未実施の者

心臓検診の検診結果の年度別推移

校種	年度	一次検査 受診者 人	二次対象者		有所見者		有所見者内訳 (人) (%)							
							先天性心疾患		後天性心疾患		その他の心疾患		心電図異常	
							人	%	人	%	人	%	人	%
小学校	30	1,149	14	1.22	17	1.48	6	0.52					11	0.96
	元	1,106	19	1.72	23	2.08	13	1.18					10	0.90
	2	1,194	17	1.42	20	1.68	6	0.50	1	0.08	2	0.17	11	0.92
	3	1,155	22	1.90	20	1.73	9	0.78	1	0.09			10	0.87
	4	1,043	33	3.16	18	1.73	10	0.96					8	0.77
中学校	30	958	22	2.30	25	2.61	6	0.63	1	0.10			18	1.88
	元	1,048	36	3.44	14	1.34	4	0.38					10	0.95
	2	1,036	32	3.09	15	1.45	9	0.87					6	0.58
	3	1,030	32	3.10	25	2.43	12	1.17	1	0.10			12	1.17
	4	1,070	38	3.55	18	1.68	7	0.65					11	1.03

## エ 結核健診

### (7) 目的

児童・生徒が万が一結核に罹患した場合、健康上だけでなく教育上の重大な影響があるため、平成24年3月に文部科学省が策定した「学校における結核対策マニュアル」に基づき結核健診をおこなう。問診票による調査を実施し、学校医の判断及び保健所や結核の専門医の助言を受けた上で、結核の精密検査の対象者を教育委員会が決定し、検査を実施する。

※平成14年度まで・・・小学校1年生、中学校1年生にツベルクリン反応検査実施

※平成15年度以降・・・児童・生徒全員に対する問診票による調査実施

### (4) 健診の実施

結核健診は、全学年に対して行う。

#### a 問診票による調査

学校長は、全学年の児童・生徒に対し結核に関する健康調査として「結核健診問診票」を保護者宛に配付し、結核罹患歴、予防内服歴、家族等の結核罹患歴、高まん延国での居住歴、自覚症状（2週間以上の咳や痰）、BCG接種状況歴の調査を行う。

#### b 学校医による内科健診及び報告

学校医による内科健診に際して、結核健診問診票の記載事項と診察により精密検査の必要があると指示があった場合には、学校長は必ず把握し、教育委員会に報告する。

#### c 精密検査対象者の決定

教育委員会は、学校長より報告のあった児童・生徒の結核健診問診票及び内科健診の所見に基づき、結核専門医及び保健所の助言を得て、精密検査が必要と認められる対象者を決定する。

#### d 精密検査の実施

教育委員会は、精密検査対象者に対し胸部エックス線撮影による精密検査を健診機関に委託して実施する。

#### e 精密検査の事後措置

教育委員会は、精密検査の結果を検査実施機関から受け、要医療、経過観察、異常なしの児童・生徒に分け、学校等に報告する。

要医療、経過観察の児童・生徒に対しては、本人及び保護者に対して、治療や検診、定期的な管理について説明を行い、その後の保健管理、保健指導及び健康相談等が、学校医の指導を受けながら適切に行われるようにする。

結核健診の健診結果の年度別推移

	年 度	X 線 直 接 撮 影		
		人	要医療（予防内服含む）	
			人	%
小 学 校	30	17	0	0.00
	元	21	0	0.00
	2	32（※1）	0	0.00
	3	16	0	0.00
	4	15（※2）	0	0.00
中 学 校	30	5	0	0.00
	元	2	0	0.00
	2	7	0	0.00
	3	6	0	0.00
	4	0	0	0.00

※1 問診のみの人数（2人）を含む。

※2 問診のみの人数（1人）を含む。

オ 脊柱側わん検診

側わん症とは、脊柱が横に曲がり、さらにねじれてしまう病気で、進行すると種々の障害を引き起こす原因となる。

さらに、この病気は原因がまだはっきりしない特発性側わん症が非常に多く、また、発症年齢は思春期、すなわち小学校上級生（5・6年生）頃から中学生にかけて最も多く、女子に多いのが特徴である。

当市では、科学的検査方法を導入し、その早期発見に努めている。

対 象：次のうち、保護者の希望のある者

- ① 小学校5年生・中学校1年生
- ② その他の学年の児童・生徒で、学校医、学校長等による抽出者
- ③ その他の学年の児童・生徒で、前年度の検診結果により、次年度再検査と指示されている者

方 法：1次検診－モアレ写真撮影

2次検診－専門医の診察（コブ度数の計測・指導）

直接エックス線撮影（立位全脊柱）

身長・体重計測

医師の指示による検査

脊柱側弯検診結果の年度別推移（小学校）

		性別	1次検診・モアレ撮影						2次検診・専門医の診察／直接X線撮影											
			受診者		要2次検査		病院管理		次年度再検診		受診者		要治療		要観察イ (3~6ヵ月後)		要観察ロ (1年後)		次年度 X-P再検査	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
30 年度	5 年生	男女計	579	0	0.0	0	0.0	5	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			586	7	1.2	1	0.2	34	5.8	7	1.2	3	0.5	1	0.2	0	0.0	2	0.3	
			1,165	7	0.6	1	0.1	39	3.3	7	0.6	3	0.3	1	0.1	0	0.0	2	0.2	
	他学 年	男女計	32	1	3.1	0	0.0	4	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
41			7	17.1	0	0.0	13	31.7	6	14.6	0	0.0	3	7.3	0	0.0	3	7.3		
73			8	11.0	0	0.0	17	23.3	6	8.2	0	0.0	3	4.1	0	0.0	3	4.1		
元 年度	5 年生	男女計	594	0	0.0	0	0.0	13	2.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			580	12	2.1	0	0.0	43	7.4	10	1.7	1	0.2	4	0.7	0	0.0	5	0.9	
			1,174	12	1.0	0	0.0	56	4.8	10	0.9	1	0.1	4	0.3	0	0.0	5	0.4	
	他学 年	男女計	21	1	4.8	0	0.0	5	23.8	1	4.8	0	0.0	1	4.8	0	0.0	0	0.0	
35			7	20.0	0	0.0	15	42.9	5	14.3	0	0.0	3	8.6	0	0.0	1	2.9		
56			8	14.3	0	0.0	20	35.7	6	10.7	0	0.0	4	7.1	0	0.0	1	1.8		
2 年度	5 年生	男女計	622	1	0.2	0	0.0	19	3.1	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			584	6	1.0	0	0.0	34	5.8	6	1.0	1	0.2	3	0.5	0	0.0	2	0.3	
			1,206	7	0.6	0	0.0	53	4.4	7	0.6	1	0.1	3	0.2	0	0.0	2	0.2	
	他学 年	男女計	19	1	5.3	0	0.0	3	15.8	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3	
49			12	24.5	0	0.0	17	34.7	9	18.4	2	4.1	5	10.2	0	0.0	2	4.1		
68			13	19.1	0	0.0	20	29.4	10	14.7	2	2.9	5	7.4	0	0.0	3	4.4		
3 年度	5 年生	男女計	540	1	0.19	0	0.0	17	3.2	1	0.2	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			552	5	0.91	0	0.0	44	8.0	5	0.9	1	0.2	1	0.2	0	0.0	3	0.5	
			1,092	6	0.55	0	0.0	61	5.6	6	0.6	2	0.2	1	0.1	0	0.0	3	0.3	
	他学 年	男女計	24	1	4.2	0	0.0	9	37.5	1	4.2	0	0.0	1	4.2	0	0.0	0	0.0	
39			9	23.1	0	0.0	13	33.3	9	23.1	1	2.6	2	5.1	0	0.0	5	12.8		
63			10	15.9	0	0.0	22	34.9	10	15.9	1	1.6	3	4.8	0	0.0	5	7.9		
4 年度	5 年生	男女計	563	0	0.0	0	0.0	14	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
			525	17	3.2	0	0.0	42	8.0	16	3.0	3	0.6	8	1.5	0	0.0	5	1.0	
			1088	17	1.6	0	0.0	56	5.2	16	1.5	3	0.3	8	0.7	0	0.0	5	0.5	
	他学 年	男女計	22	0	0.0	0	0.0	4	18.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
44			9	20.5	0	0.0	12	27.3	9	20.5	2	4.5	2	4.5	0	0.0	5	11.4		
66			9	13.6	0	0.0	16	24.2	9	13.6	2	3.0	2	3.0	0	0.0	5	7.6		

(注) 率(%)は1次受診者数に対してのものである。

《共通》要治療：専門の整形外科医による治療が必要な人。

要観察イ：専門の整形外科医のもとで3~6ヶ月後にもう一度、診察を受けることが必要な人。

要観察ロ：専門の整形外科医のもとで1年後にもう一度、診察を受けることが必要な人。

次年度X-P再検査：次年度の検診時、直接X線撮影を受けることが必要な人。

脊柱側わん検診結果の年度別推移（中学校）

		性別	1次検診・モアレ撮影							2次検診・専門医の診察／直接X線撮影										
			受診者		要2次検査		病院管理		次年度再検診		受診者		要治療		要観察イ (3~6ヵ月後)		要観察ロ (1年後)		次年度 X-P再検査	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
30 年度	1 年生	男女計	476	1	0.2	0	0.0	26	5.5	1	0.2	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	
		男女計	424	11	2.6	1	0.2	50	11.8	7	1.7	1	0.2	4	0.9	0	0.0	2	0.5	
		男女計	900	12	1.3	1	0.1	76	8.4	8	0.9	1	0.1	5	0.6	0	0.0	2	0.2	
他 学年	男女計	男女計	45	8	17.8	0	0.0	11	24.4	4	8.9	1	2.2	1	2.2	1	2.2	1	2.2	
		男女計	75	31	41.3	0	0.0	21	28.0	24	32.0	3	4.0	11	14.7	2	2.7	1	1.3	
		男女計	120	39	32.5	0	0.0	32	26.7	28	23.3	4	3.3	12	10.0	3	2.5	2	1.7	
元 年度	1 年生	男女計	495	6	1.2	0	0.0	29	5.9	5	1.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	4	0.8	
		男女計	476	12	2.5	1	0.2	52	10.9	10	2.1	2	0.4	6	1.3	0	0.0	1	0.2	
		男女計	971	18	1.9	1	0.1	81	8.3	15	1.5	3	0.3	6	0.6	0	0.0	5	0.5	
他 学年	男女計	男女計	42	14	33.3	0	0.0	15	35.7	10	23.8	0	0.0	1	2.4	0	0.0	3	7.1	
		男女計	81	36	44.4	0	0.0	20	24.7	32	39.5	3	3.7	10	12.3	0	0.0	6	7.4	
		男女計	123	50	40.7	0	0.0	35	28.5	42	34.1	3	2.4	11	8.9	0	0.0	9	7.3	
2 年度	1 年生	男女計	511	1	0.2	1	0.2	33	6.5	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2	
		男女計	488	25	5.1	2	0.4	64	13.1	16	3.3	3	0.6	4	0.8	0	0.0	9	1.8	
		男女計	999	26	2.6	3	0.3	97	9.7	17	1.7	3	0.3	4	0.4	0	0.0	10	1.0	
他 学年	男女計	男女計	61	20	32.8	0	0.0	15	24.6	13	21.3	0	0.0	2	3.3	4	6.6	5	8.2	
		男女計	91	33	36.3	0	0.0	28	30.8	22	24.2	0	0.0	7	7.7	5	5.5	4	4.4	
		男女計	152	53	34.9	0	0.0	43	28.3	35	23.0	0	0.0	9	5.9	9	5.9	9	5.9	
3 年度	1 年生	男女計	496	0	0	0	0.0	36	7.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
		男女計	458	22	4.8	1	0.2	50	10.9	15	3.3	0	0.0	8	1.8	0	0.0	6	1.3	
		男女計	954	22	2.3	1	0.1	86	9.0	15	1.6	0	0.0	8	0.8	0	0.0	6	0.6	
他 学年	男女計	男女計	60	13	21.7	0	0.0	6	10.0	9	15.0	0	0.0	1	1.7	1	1.7	3	5.0	
		男女計	107	38	35.5	0	0.0	26	24.3	28	26.2	2	1.9	7	6.5	7	6.5	8	7.5	
		男女計	167	51	30.5	0	0.0	32	19.2	37	22.2	2	1.2	8	4.8	8	4.8	11	6.6	
4 年度	1 年生	男女計	536	7	1.3	0	0.0	25	4.7	3	0.6	0	0.0	3	0.6	0	0.0	0	0.0	
		男女計	466	22	4.7	1	0.2	72	15.5	16	3.4	0	0.0	6	1.3	0	0.0	8	1.7	
		男女計	1002	29	2.9	1	0.1	97	9.7	19	1.9	0	0.0	9	0.9	0	0.0	8	0.8	
他 学年	男女計	男女計	61	6	9.8	0	0.0	16	26.2	5	8.2	0	0.0	0	0.0	1	1.6	2	3.3	
		男女計	83	29	34.9	0	0.0	13	15.7	18	21.7	0	0.0	8	9.6	4	4.8	1	1.2	
		男女計	144	35	24.3	0	0.0	29	20.1	23	16.0	0	0.0	8	5.6	5	3.5	3	2.1	

(注) 率(%)は1次受診者数に対してのものである。  
 《共通》 要治療：専門の整形外科医による治療が必要な人。  
 要観察イ：専門の整形外科医のもとで3~6ヶ月後にもう一度、診察を受けることが必要な人。  
 要観察ロ：専門の整形外科医のもとで1年後にもう一度、診察を受けることが必要な人。  
 次年度X-P再検査：次年度の検診時、直接X線撮影を受けることが必要な人。

## カ 就学時健康診断

小学校の就学予定者に対し、あらかじめ健康診断を行うことにより、その栄養状態や健康状態を把握する。この結果に基づき、治療を勧告し、保健上必要な助言や就学に関する指導等を行う。

対象：学校教育法施行令第2条の規定によりあらかじめ作成された学齢簿に記載された就学予定者

## キ 学校環境衛生

### (7) 飲料水の検査

小・中学校における飲料水の衛生管理（給水設備の管理、水質検査の実施等）の徹底を図り、飲料水を起因とする赤痢等消化器系感染症の事故防止について万全を期する。

塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、一般細菌、大腸菌、水素イオン濃度、臭気、味、色度、濁度の9項目の定期検査を実施する。必要に応じて臨時検査を実施する。

### (イ) プール水の水質検査

中学校におけるプールの水質を保持するため、水質検査を実施する。

プール実施期間に毎月1回、pH値、有機物（過マンガン酸カリウム消費量）、一般細菌、大腸菌、濁度の検査を行い、プール開催期間中1回、総トリハロメタンの検査を実施する。必要に応じて臨時検査を実施する。



多摩中学校 可動式屋根のプール（体育館棟）

### (ウ) 教室の環境衛生検査

小・中学校において、教室の環境検査を実施する。快適な教室環境を保持し、学習能率の向上と児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

学校薬剤師により、夏季にホルムアルデヒド・トルエン等、冬季にホルムアルデヒド・CO・CO<sub>2</sub>・照度等の検査を全校で実施する。

## ク 多摩市学校保健会

多摩市学校保健会は、多摩市立学校児童・生徒及び、教職員の健康保持増進と学校保健活動の充実発展並びに会員の資質向上を目的とする団体である。この活動を支援し、多摩市の学校保健の水準向上を図る。

## ケ 学校保健委員会の活動促進

学校保健委員会は、学校保健計画を策定し、学校における健康の問題に対して、学校と家庭・地域が連携して研究協議し、対策を実施するための、校長の諮問機関である。

平成18年度から多摩市立小・中学校全校に設置されており、今後は委員会活動の活性化を促進していく。

学校保健委員会設置状況

小学校 全校（17校） 中学校 全校（9校）

## (9) 独立行政法人 日本スポーツ振興センター災害共済給付

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付は、児童・生徒が学校の管理下（授業中、校外活動、登下校中等）において事故等にあった場合において、医療費の4割が支給される制度であり、また万一障害を残したり、あるいは死亡した場合は、その程度により見舞金が支給される制度である。

掛金及び給付状況

年度	30	元	2	3	4
区分					
児童・生徒一人当たり掛金	945円	935円	935円	935円	935円
掛金総額	9,311,265円	9,107,170円	9,225,040円	9,239,225円	9,049,505円
契約幼児・児童・生徒総数	10,107人	9,980人	10,070人	10,079人	9,867人
医療費給付件数	657件	832件	621件	672件	710件
給付総額	6,216,991円	6,010,151円	6,037,476円	4,883,806円	5,334,058円
給付率	66.8%	66.0%	65.4%	52.9%	58.9%

## (10) 就学援助制度

就学援助制度とは、経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、教育費の一部を多摩市が援助する制度である。

### ア 就学援助費支給対象児童・生徒数及び援助額（給食費援助は除く）

※年度内の認定者等の総数

#### (7) 就学予定児童

年度	援助対象就学予定児童数	援助額（新入学準備金）
30	79人	3,207,400円
元	74人	3,744,400円
2	84人	4,289,040円
3	61人	3,114,660円
4	69人	3,730,140円

(イ) 小学校

年度	援助対象児童数		申請者数	援助額 (新入学準備金を含む)
	要保護児童数	準要保護児童数		
30	87人	638人	1,206人	23,905,958円
元	82人	633人	1,103人	24,480,016円
2	61人	586人	1,076人	20,595,927円
3	54人	558人	1,002人	20,307,696円
4	49人	525人	913人	20,389,487円

(ウ) 中学校

年度	援助対象生徒数		申請者数	援助額
	要保護生徒数	準要保護生徒数		
30	69人	351人	749人	17,821,426円
元	55人	357人	697人	18,554,444円
2	56人	380人	732人	11,499,198円
3	56人	347人	686人	13,047,859円
4	48人	331人	619人	17,746,723円

(11) 就学奨励制度

就学奨励制度とは、心身に障がいのある児童・生徒の就学を奨励するため、保護者に対して、教育費の一部を多摩市が補助する制度である。

ア 特別支援教育就学奨励費支給対象児童・生徒数及び援助額

(イ) 小学校

年度	援助対象児童数	援助額
30	97人	2,758,074円
元	102人	1,705,323円
2	123人	2,429,488円
3	112人	2,411,424円
4	125人	2,736,630円

(ウ) 中学校

年度	援助対象生徒数	援助額
30	63人	3,848,552円
元	74人	3,908,979円
2	86人	3,791,297円
3	94人	4,809,722円
4	98人	4,735,166円



## (12) 学校災害賠償補償保険

多摩市教育委員会では、多摩市立小中学校の児童・生徒に対して、公費により学校賠償補償保険に加入しています。

学校管理下における怪我等により、入院1日、通院6日以上が生じた場合に入院補償保険金・通院補償保険金(お見舞金)が日数に応じて保険会社から支払われるものです。

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
一人当たりの掛金	194.31円	194.31円	198.53円	198.53円	198.53円
掛 金 総 額	1,955,341円	1,963,695円	1,982,122円	2,000,189円	2,000,983円
契約児童・生徒数	10,063人	10,106人	9,984人	10,075人	10,079人
事故報告件数	36件	31件	31件	19件	27件
保険請求件数	30件	27件	24件	24件	24件
給付総額	1,125,000円	1,080,000円	805,000円	860,000円	705,000円

※「事故報告件数」、「保険請求件数」、「給付総額」については、当該年度中の件数及び金額を集計しています。前年度以前に発生した事故に関するものも含まれています。

## (13) 学校給食

### ア 学校給食用物資の購入

学校給食用の食材については、学校給食物資取扱要項により、その規格基準を定め、安全で新鮮な食材料の購入に努めている。この食材の購入は、児童・生徒の保護者から徴収した学校給食費で運用している。

食材料の納入業者は2年毎に業者登録を行い、入札により納入業者を決定し購入をしている。

令和5年5月1日現在 登録業者数	29業者
令和4年度物資購入額	約5億5千338万6千円

### イ 学校給食センター運営委員会

多摩市立学校給食センターの運営に関し、重要な事項について教育委員会から諮問を受け、審議及び必要に応じ調査、研究等を行い、学校給食センターの運営を適正かつ円滑に行うため、学校給食センター運営委員会を設置している。

令和4年度に教育委員会から諮問等を受け、答申及び提言等を行ったものは、以下の通りである。

令和4年 7月	今年度の学校給食センター運営委員会について
令和4年10月	令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書(案)について
令和5年 2月	学校給食費の改定(案)について及び令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書(案)について
令和5年 2月	学校給食費の改定(案)について及び令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書(案)について継続審議 (書面開催)

委 員 13人

市立小中学校長代表	2人	市立小中学校給食主任代表	2人
市立小中学校保護者代表	2人	公募市民	2人
所轄保健所長が指名した者	1人	関係行政機関の職員	1人
学識経験者	3人		

任 期 2年

## ウ 学校給食実施状況

(給食対象者は各年度5月1日現在)

年度	センター（調理所）別	給食対象人員 （人）	給食延べ食数（食）
30	南野調理所 （内 学校法人帝京大学小学校）	5,746 (316)	1,046,509 (52,886)
	永山調理所	5,653	1,035,553
	合計	11,399	2,082,062
元	南野調理所 （内 学校法人帝京大学小学校）	5,729 (309)	958,554 (48,724)
	永山調理所	5,603	938,015
	合計	11,332	1,896,569
2	南野調理所 （内 学校法人帝京大学小学校）	5,716 (322)	960,357 (38,062)
	永山調理所	5,669	968,132
	合計	11,385	1,928,489
3	南野調理所 （内 学校法人帝京大学小学校）	5,756 (331)	1,039,148 (55,624)
	永山調理所	5,687	1,057,405
	合計	11,443	2,096,553
4	南野調理所 （内 学校法人帝京大学小学校）	5,480 (322)	1,054,006 (59,660)
	永山調理所	5,553	1,075,466
	合計	11,033	2,129,472



## エ 学校給食費の推移

改定年月	小 学 校			中 学 校		
	低学年月額(円)		中学年月額(円)	高学年月額(円)	中学校月額(円)	
平成 31. 4	1 年生	2 年生	4, 240	4, 510	1・2 年生	3 年生
	3, 930	4, 020			4, 650	5, 000

改定年月 ※1	区 分		牛乳あり	牛乳なし	牛乳(飲料)のみ
			月額	月額	月額
令和2. 4 ※2	小学校	1年生	4, 050円 (4, 420円)	3, 040円 (3, 320円)	1, 040円 (1, 130円)
		2年生	4, 140円 (4, 420円)	3, 090円 (3, 320円)	1, 060円 (1, 130円)
		3・4年生	4, 360円 (4, 650円)	3, 330円 (3, 540円)	1, 060円 (1, 130円)
		5・6年生	4, 630円 (4, 920円)	3, 590円 (3, 820円)	1, 060円 (1, 130円)
	中学校	1・2年生	4, 760円 (5, 410円)	3, 810円 (4, 310円)	980円 (1, 130円)
		3年生	5, 110円 (5, 260円)	4, 100円 (4, 190円)	1, 050円 (1, 100円)
令和5. 4 ※3	小学校	1年生	4, 300円	3, 210円	1, 110円
		2年生	4, 390円	3, 280円	1, 130円
		3・4年生	4, 650円	3, 540円	1, 130円
		5・6年生	4, 940円	3, 830円	1, 130円
	中学校	1・2年生	5, 070円	4, 050円	1, 040円
		3年生	5, 450円	4, 360円	1, 120円

※1 令和2年度より、「牛乳あり・なし、牛乳のみ」の3種類に費用体系を細分化した

※2 ( ) 内は、令和2年度の徴収額(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4・5月は学校休業。6月・8月の簡易給食については市費負担。7月分及び9～3月分の8カ月を保護者より徴収した)

※3 値上げ分は市費負担としており、保護者の負担額は令和2年度改定時の学校給食費のまま(据え置き)とした

## オ 令和4年度学校・家庭連携事業

学校給食を通して学校、地域の保護者等との交流を深め、児童生徒の食生活の改善を図るとともに、学校給食への理解と協力を得ることに努めた。また、栄養士による学校訪問等を行い、授業参加を通じ、食に関する指導を積極的に行うとともに食育の推進をさらに充実させた。

### (ア) 試食会

保護者及び市民等を対象として、当日の給食を試食してもらい、多摩市の学校給食の現在の状況や食品の安全衛生及び栄養所要量等について説明を行うなど、学校給食に対する理解とPRに努めた。

小学校	8回	延べ	184人
中学校	0回		0人
その他	4回		93人
計	12回		277人

### (イ) 施設見学会

学校、保護者及び市民などを対象として、実際の調理作業を見てもらいながら、給食センターの施設概要、調理工程や衛生管理、食品ロス削減等について説明し、安全かつ衛生的な学校給食のPRに努めた。

小学校	9回	延べ	709人
中学校	3回		55人
その他	0回		0人
計	12回	延べ	764人

### (ウ) 食育授業・給食指導・クラス訪問

学校での学級活動や生活科等における食育の授業において、担任教諭、栄養教諭及び学校給食センター栄養士が連携し、食に関する指導を行い、積極的に食育の推進を図った。また、給食指導では、給食時間中に献立を題材にした食に関する指導を行い、クラス訪問では、配食・喫食状況の確認、児童からの意見を聴取し、献立作成に役立てた。※例年多くの学校で実施しているクラス訪問は、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少した。

食育授業	1回	1校	延べ授業時間3時間
給食指導	6回	2校	延べ11クラス
クラス訪問	7回	7校	延べ13クラス

## カ 地場農産物供給実績

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
品目数(品目)	19	18	15	17	16

キ 学校給食における地場農産物供給実績

年度 品名	30	元	2	3	4
長葱	368 kg 16回/年	329 kg 19回/年	625 kg 25回/年	72 kg 4回/年	89 kg 6回/年
大根	1,857 kg 28回/年	2,177 kg 31回/年	2,034 kg 30回/年	2,145 kg 31回/年	1,776 kg 24回/年
じゃがいも	752kg 10回/年	665kg 7回/年	372kg 3回/年	536kg 8回/年	371 kg 5回/年
玉ねぎ	2,116kg 22回/年	2,088kg 26回/年		1,425kg 16回/年	2,143 kg 27回/年
なす	134g 7回/年	82g 7回/年		30kg 3回/年	47 kg 4回/年
トマト	202kg 4回/年				
きゅうり	55kg 5回/年	54kg 6回/年		20kg 2回/年	10 kg 1回/年
かぼちゃ	250kg 8回/年	343kg 4回/年	251kg 4回/年	305kg 4回/年	139 kg 2回/年
かぼちゃ (コロッケ)		10,645個 3回/年	22,780個 8回/年	10,820個 12回/年	
ブロッコリー	30kg 1回/年	75kg 3回/年	30kg 1回/年		
カリフラワー	32kg 1回/年		30kg 1回/年		
人参	251kg 13回/年	48kg 1回/年		66kg 4回/年	45 kg 2回/年
小松菜	90kg 10回/年	60kg 6回/年	65kg 7回/年	179kg 16回/年	69 kg 7回/年
ほうれん草	108kg 8回/年	23kg 4回/年	75kg 10回/年	40kg 5回/年	17 kg 2回/年
白菜	896kg 13回/年	710kg 8回/年	965kg 10回/年	629kg 10回/年	767 kg 13回/年
生しいたけ	100kg 22回/年	84kg 16回/年	39kg 8回/年	20kg 4回/年	
干椎茸		23kg 20回/年	13kg 14回/年	22kg 20回/年	33 kg 32回/年
みそ	683kg 42回/年	436kg 27回/年	173kg 10回/年	63kg 4回/年	116 kg 8回/年
ブルーベリー (ジャム)	170kg 4回/年	50kg 4回/年	11,401個 4回/年	11,395個 4回/年	10,905個 4回/年
ブルーベリー (ゼリー)					10,521個 4回/年
甘夏みかん (シャーベット)	360kg 4回/年	10,163個 4回/年	11,382個 4回/年		
甘夏みかん (ゼリー)				22,168個 8回/年	
みかん					
ぶどう	2,030粒 1回/年				4,948粒 2回/年

※かぼちゃは一部コロッケに、ブルーベリーはジャムとゼリーに加工して提供。

## (14) 教育センター

教育センターでは、主に多摩市立小・中学校に在籍する児童・生徒・その保護者及び教職員を対象に、臨床心理士・社会福祉士等が、各種事業を行っている。

### ア 教育相談

子どもの情緒や不登校等についての心配、学校での悩みやいじめに関する事など、広く教育に関する相談を実施した。令和2年9月からは、発達支援室と教育相談室の窓口を発達・教育初回相談窓口に一元化し、相談者が速やかに支援を受けられる体制づくりを行った。

項目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
教育相談（来所）件数	392	346	259	215	273
教育相談（来所）面接・連携回数	4,082	4,236	2,416	2,658	3,005
電話教育相談件数	14	20	5	9	9
インターネット・携帯相談件数	55	43	7	—	—
スクールソーシャルワーカー相談件数	38	35	34	46	31
スクールソーシャルワーカー面接・連携回数	1,158	1,023	1,024	1,245	957

※インターネット・携帯相談は令和2年度に発達・教育初回相談窓口に統合された。元年度までは講師派遣依頼も含めた件数

### イ 特別支援教育マネジメントチーム

市内小・中学校の就学相談、転学相談、心理や医療の専門家による巡回相談等、通級入級・特別支援教室利用相談等の業務にあたり、特別支援教育の充実と発展を図るための活動を行った。

項目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
就学相談件数	183	222	224	243	255	
転学相談件数	43	69	42	66	72	
巡回相談件数	59	69	36	50	53	
通級入級 相談件数	特別支援教室(情緒通級)	152	105	114	135	111
	難聴・言語	14	12	22	15	18

### ウ 適応教室（ゆうかり教室）、適応指導（日本語指導）

適応教室は、不登校の児童・生徒のための教室で、様々な活動を通して、集団生活への適応力を高め、早期の学校復帰に向けた支援を行った。また、e-ラーニングを導入し、不登校児童・生徒への学習機会の確保を図った。

導入適応指導（日本語指導）は、帰国児童・生徒や外国籍などで、日本語の指導が必要な児童・生徒に対して、市立小・中学校へ指導員を派遣し、日本語や生活習慣について指導や支援を行った。

項目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
ゆうかり教室通室者数	52	41	32	49	73
ゆうかり教室週1日以上 の定期通室者数	—	—	—	—	31
プログラム改善事業 (コアラタイム)	回数	—	—	—	33
	参加人数	—	—	—	276
適応指導（日本語指導） 実施人数	22	22	18	19	17

## エ 経営研究室

平成28年度まで、教育情報・資料の収集・研究により、多摩市立小・中学校への有効な情報の発信及び授業の支援や、教職経験豊富な研究主事による各教員のニーズに合わせた学級・学校経営を支援していた。平成29年度から研究主事は育成主事として学校配置となり、事業内容は教育指導課指導主事が担当している。

## オ 特別支援教育推進計画に基づく取り組み

令和2年12月に策定した「第二次多摩市特別支援教育推進計画」に基づき、多摩市の特別支援教育の推進に関わる事業を実施した。主な取り組みは下記の通りである。

### (ア) 個々の特性に応じた一貫性のある支援を推進するため、校内支援力の向上

#### ① 校内委員会の活用

《校内委員会を活用した、組織的な特別支援教育の実践方法に関する取り組み》

- ・特別支援教育コーディネーター研修では、校内委員会の演習を行い、限られた時間で特別支援教育コーディネーターとしての役割を果たすための実践的研修を行った。
- ・校内委員会で使用する資料のファイリング方法の好事例を紹介・共有した。

#### ② 個別指導計画・学校生活支援シートの作成と活用

《多摩市共通の「学校生活支援シート」の作成》

- ・特別支援学級では各校の様式で確実に作成済み。
- ・特別支援教室及び難聴・言語障害通級指導学級では、東京都作成の様式を参考にした市の様式で確実に作成されている。また、通常の学級でも必要に応じて市の様式で作成されている。そのため、様式の統一よりも、記載内容の充実や実際の活用がより重要と考えられる。

《知的障害特別支援学級共通の「個別指導計画」検討委員会の実施・共通様式の活用》

- ・知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級共に各校の様式で確実に作成されている。また、特別支援教室等では令和3年度から変更した市共通様式での作成が定着した。そのため、学校生活支援シートと同様、様式の統一よりも、記載内容の充実や実際の活用がより重要と考えられる。

#### ③ 特別支援教育実践事例集の作成

- ・令和4年度は実施していない。

### (イ) 教員の専門性を更に高め、児童・生徒に必要な資質・能力の育成

《派遣相談の充実》

- ・授業相談については、学期に1回実施について周知するとともに、学校訪問等の際に授業相談の実施を提案するなど柔軟に対応した。ケースに応じて実施後の様子を確認し、再度の授業相談実施の提案等も行った。

《中学校特別支援教室導入直後の校内委員会の充実に生かす派遣相談》

- ・令和3年3月に「特別支援教室の運営ガイドライン」（東京都教育委員会）が示された

こと、令和4年度から小学校においても巡回指導方式となったこと等から、小・中学校の拠点校へスーパーバイザーの講師派遣を実施した。

《学校用PCへの「ユニバーサルフォント」導入》

・機器更新により導入実施済み。

《学習障害の児童・生徒に対する指導・支援方法に特化した研修の実施》

・管理職研修において、学習障害に特化した研修を実施した。

・特別支援教室拠点校研修におけるケース検討の際に、スーパーバイザーによる研修を適宜実施した。

(ウ) 「共生社会の実現」に向け、行政・学校・保護者・関係機関の連携の強化

① 特別支援教育マネジメントチーム

《学校への助言・支援業務》

・相談件数がさらに増加している状況にあって、具体的な方策までの検討には至っていない。センター内の各機関の連携も前提に令和5年度、検討していく予定である。

《【就学相談】相談件数増加への対応》

・相談員1名（公認心理師）をあらたに配置し、急増する相談件数に対応してきた。

・さらに令和5年度現在、件数増加に対応するため相談体制について検討を行っている。

《【転学相談】フォローアップ相談の充実》

・令和3年度に引き続き、フォローアップ相談を実施し、転学相談に繋げるなどの対応を図った。

・相談件数の増加に伴い、フォローアップ相談のあり方について継続して検討を行っている。

《特別支援教室の利用・終了判定の充実》

・多摩市立小・中学校特別支援教室の運営指針を令和4年度版に改定したため、その実施状況の確認、精査を行っていく。その結果に基づき、令和5年度、引き続き検討を行っていきたい。

② 特別支援教育の啓発活動の充実

《特別支援教育推進のための普及・啓発活動》

・令和3年度に引き続き、市公式ホームページを活用した多摩市の特別支援教育の周知を行った。特に転学相談も含め、市公式YouTubeチャンネルに動画ファイルを掲載し、より理解を深めていただく取り組みを実施した。

・令和5年1月下旬に、「ICTと健康」セミナーとして、特別支援教育マネジメントチームの心理士により、子どもインターネット・ゲーム依存についての講演会を実施した。

③ 保健・福祉部門等との連携の強化

《発達支援室と教育センターの初回相談窓口の統合による連携強化》

・初回相談窓口相談を発達支援室、教育相談室で実施。特別支援教育マネジメントチームも含めて週1回の支援方針会議を実施し、適切な相談・支援について検討し対応を行った。



《特別支援と福祉制度等の情報がわかるハンドブックの作成・活用》

・昨年度からの検討が進んでおらず、次年度も引き続き検討を行っていく。

④ 支援継続ツールについての検討

・様々な支援継続ツールの実態把握を継続し、作成機関により、使用目的と対象者が違うため、どのような内容が適切なのかわかる、対象者を含め整理が必要かどうか継続して検討していく。

(エ) 特別支援教育推進のための環境整備について検討を進める

① 中学校特別支援教室の運用に関する検討

《中学校特別支援教室の運用に関する検討委員会の開催》

・東京都の特別支援教室の運営ガイドラインに基づき作成した多摩市の「運営指針」の運用から1年経過するため、指針に基づく実施状況を確認のうえ検討していきたい。

② 小・中学校特別支援学級の整備に関して

・学級人数の状況を見ながら、特別支援学級の整備について引き続き検討を行っていく。



特別支援学級が設置されている諏訪中学校



特別支援教室はすべての小・中学校に開設されている。(写真:大松台小学校)

### 3 社会教育

#### (1) 多摩市学びあい育ちあい推進審議会

教育委員会組織が連携し効果的に社会教育行政が推進できるよう、社会教育委員の会議と公民館運営審議会を統合し、図書館協議会や文化財保護審議会の委員等も加え平成24年4月1日に設置した。

本審議会は社会教育の振興及び社会教育と学校教育の連携を図るとともに、生涯学習の理念を踏まえ、教育活動に関わる全ての市民の心身ともに健やかな成長に資する教育行政を推進するため、教育委員会の諮問に応じて調査審議し答申するほか、必要に応じて教育委員会に提言することができるものである。学びあい育ちあい推進審議会委員は、社会教育行政等に市民の意見を反映させるための、地域住民と行政のパイプ役を担っている。

令和4年度学びあい育ちあい推進審議会審議状況等

単位：回

区別	月別												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
定例会	1	1			1			1		1	1		6
東京都市町村社会教育委員 連絡協議会関係 会議・大会等	1			1				1	1		1		5
計	2	1	0	1	1	0	0	2	1	1	2	0	11

令和4年度学びあい育ちあい推進審議会活動内容

会議名	年月日	内容
定例会	令和4年4月22日	(協議) ①会長・副会長の選出について ②令和4年度多摩市文化団体連合への補助金交付について ③令和4年度社会教育関係団体補助金の交付について  (報告) ①公民館事業進捗状況について ②公民館施設使用状況について ③令和4年度公民館年間事業計画について ④多摩市図書館協議会委員の解嘱及び委員の決定について ⑤令和4年度図書館特別整理(蔵書点検)のための休館について ⑥「多摩市デジタルアーカイブ」新しいコンテンツの公開について ⑦多摩市社会教育関係団体補助金交付要綱の改正について ⑧令和3年度地域学校協働活動研修の実施について  (連絡) ①令和4年度都市社連協定期総会について
定例会	令和4年5月20日	(報告) ①令和4年度都市社連協定期総会について ②令和3年度公民館事業報告について ③令和3年度公民館施設使用状況について

会議名	年月日	内容
定例会	令和4年8月19日	<p>④公民館施設使用状況について            ⑤公民館事業進捗状況について            ⑥「令和4年度多摩市立図書館事業計画」について            ⑦第13回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の報告について</p> <p>(協議) ①「多摩市立中央図書館管理運営方針(骨子案)」について</p> <p>(報告) ①令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について            ②多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称について            ③公民館事業進捗状況について            ④公民館施設使用状況について</p> <p>(協議) ①多摩市立中央図書館整備の進捗状況及び多摩市立中央図書館管理運営方針(素案)について</p>
定例会	令和4年11月18日	<p>(報告) ①令和4年度第4次多摩市生涯学習推進計画の内部評価(案)について            ②公民館事業進捗状況について            ③公民館施設使用状況について            ④令和4年度公民館等利用者懇親会の開催について            ⑤多摩市立中央図書館管理運営方針について            ⑥令和3年度多摩市立図書館事業報告書について            ⑦市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称の1次選考結果について            ⑧令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について</p>
定例会	令和5年1月20日	<p>(報告) ①第4次多摩市生涯学習推進計画の令和3年度内部評価について            ②公民館事業進捗状況について            ③公民館施設使用状況について            ④令和3年度多摩市立図書館事業評価について            ⑤令和3年度地域学校協働活動の報告及び今後の地域学校協働活動の取り組み予定について            ⑥令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について            ⑦関東甲信越静社会教育研究大会(山梨大会)について</p> <p>(連絡) ①第14回ほんともフェスタの開催について</p>
定例会	令和5年2月17日	<p>(報告) ①多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称について            ②公民館事業進捗状況について            ③公民館施設使用状況について            ④公民館等利用者懇談会について            ⑤多摩市立図書館の開館時間の変更等について            ⑥(仮称)多摩市立中央図書館内カフェ出店候補者選定に係るプロポーザル審査結果報告書について</p>

令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会関係

研修名	年月日	内容
定期総会 社会教育委員 研修会	令和4年4月23日	【社会教育委員研修会】 演題：コロナ後の社会教育を考える ーこれまでの蓄積と成果を踏まえてー 講師：玉川大学 学術研究所 高等教育開発センター 特任教授 笹井 宏益 氏
理事会	令和4年7月12日	(報告事項) 令和4年度役員・理事名簿および輪番表他について 他5件 (協議事項) 令和4年度都市社連協ブロック研修会について 他3件
第3ブロック 研修会	令和4年11月12日	統一テーマ：市民のニーズを活かす・つなげる社会教育 ～対話からつくろう これからの「学び」～ 研修テーマ：デザインでつながる学び ～創造してみよう！～  第1部 基調講演 演題：図工の先生が語る デザインでつながる学びのカタチ ～紙コップ星人から生まれる物語～ 講師：帝京大学 教育学部 初等教育学科 講師 大櫃 重剛 氏  第2部 日野市生涯学習推進基本構想・基本計画「日野まなびあいプラン」～社会教育委員手作りの計画策定作業から その思い～ 発表者：日野市社会教育委員の会議 議長 小杉 博司 氏
交流大会 社会教育委員 研修会	令和4年12月10日	第1部 交流大会 ・式典 ・各ブロック研修会実施報告  第2部 研修会 演題：孤独を解消する！ だれもが対話し、つながる社会へ 講師：(株)オリィ研究所 OriHimeパイロット なおき 氏 NPO法人東京こどもホスピスプロジェクト 代表理事 佐藤 良絵 氏
理事会	令和5年2月14日	(報告事項) 令和4年度(一社)全国社会教育委員連合 第2回理事会・第2回総会について 他2件 (協議事項) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰について 他6件 (その他) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について 他1件

## (2) 家庭教育支援事業

核家族化、少子化、地域教育力の低下が進み、今、親たちは、様々な子育ての課題に直面しており、子育てに対する親の悩みはますます大きなものとなっている。このような親の悩みや不安に対応するため、乳幼児期や小中学生の子どもを持つ親を対象として、以下の事業を実施した。

### ア 家庭教育学級の実施

子育てなど、家庭教育に関する学習の場の設定及び情報の提供を行い、家庭の教育力の向上を図ることを目的とした「家庭教育学級」事業を実施した。

年度ごとに、小学校・中学校・幼稚園・保育園の中から開催を希望する学校、園でPTAや保護者会を含む実行委員会を組織し、家庭教育に関する学習会を開催している。（令和4年度は1園で実施）

### イ 家庭教育講座の実施

子育て期の保護者が気軽に参加しやすい講座として、公民館や児童館を会場に「家庭教育講座」を実施した。講座への参加を通じて、家庭教育に関する学習機会の提供や参加者同士の交流、地域施設とのつながりができるような場となるとともに、家庭教育について新たな気付きを持ってもらうことを目的として実施した。（令和4年度は5施設8講座実施）

## (3) 社会教育団体への支援

社会教育団体（成人教育に関する団体で構成させる連合体）である、多摩市公立小・中学校PTAそれぞれの連合体に対し、活動の活性化及び効率化を目的に、多摩市社会教育団体補助金要綱に基づく補助金の交付等の支援を行った。

### ア 多摩市立小学校PTA連絡協議会（小P連）

市内には17校の小学校があり、各校のPTA組織、もしくはPTAに準ずる組織（父母会・世話人会）は、組織形態にこだわらず小P連に参加することができ、令和4年度は16団体が加盟している。これらの団体同士が連絡を取り合い、「現代の防犯対策について考える」をテーマに市長・教育長懇談会の開催や「小P連だより」の発行を通じて、各校PTA組織の活動の活性化や家庭の教育力の向上に貢献している。

## イ 多摩市立中学校PTA联合会（中P連）

市立中学校PTA及びこれに準ずる団体で構成されており、令和4年度は全9団体が加盟している。コロナ禍で実施できなかった事業もあったが、定例の運営委員会において各PTA間の情報交換等を行うほか、「コロナ禍の後の中学校生活・環境に対して、生徒・保護者が望むこと」をテーマに市長・教育長懇談会の開催や「中P連だより」を発行して活動内容の情報発信を行った。

## (4) 地域学校協働活動

地域教育力の低下が指摘され、子どもを取り巻く状況が様々に変化する中で、平成20年度から地域教育力支援コーディネーターを配置し、学校支援の手法や課題等の分析、支援策の試行実施及び成果の検証を経て、平成23年度から教育連携支援事業を開始した。

平成30年度に市内公立小・中学校全校で教育連携支援事業を展開したことを受けて、令和元年度から学校・家庭・地域の連携・協働を推進するため、段階的に地域学校協働活動への移行を開始し、令和3年度に市内公立小・中学校全校の移行が完了した。

また、地域の団体等と連携し、子どもたちの学びの提供を行っている。

### ア 協働活動推進の担い手

#### (ア) 地域教育力支援コーディネーター

市内小・中学校に配置している地域学校協働活動推進員を統括するとともに、学校の課題や要望に対して、地域の人材やNPO、大学、企業等と連携を図りながら支援するために、教育委員会に配置している専門スタッフ

#### (イ) 地域学校協働活動推進員

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の特色を生かして、子どもの成長を育む体制を整えることを目的に活動し、学校と地域学校協働活動ボランティアとの間に立ち、相互の適切な連携関係を作り、総合的な連絡・調整を行う役割を担う人材

### イ 地域のかを生かした学習支援の推進

各学校に地域学校協働活動推進員、または教育連携コーディネーターを配置し、保護者、地域住民や大学生等による学習の補助、基礎学力の定着及び学習習慣の確立に向けた授業時間以外での補習（地域未来塾）、様々な体験活動の機会の提供等に取り組んだ。

○対象学校数：26校

○地域学校協働本部設置数：23か所

○参加ボランティア人数：5,309人（延べ）



## (5) 子ども体験事業

子どもたちが豊かな自然に親しみ、自主的・自発的に遊ぶことのできる場を提供することにより、遊びを通して、心身や情緒を成長・発達させ、また社会性を身につけることを目的として、主旨に賛同する市内大学との市民協働委託により大谷戸プレーパークTAMAを実施した。

また、野外活動の必要性、自然体験活動、子どもとの関わり方など技術を学び、子どもたちのさまざまな体験活動をサポートする自然体験活動指導者養成講座を3月に開催し、10人の参加があった。

○実施期間：令和4年4月～令和5年3月の第2土曜日に実施

○実施日数：12日（当初計画12日）

○参加人数：1,212人（年間）

地域教育力



### 大谷戸プレーパークTAMA



## (6) 文化財保護審議会

多摩市文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保護及び活用に関する重要事項を調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議するために設置された。審議会委員の任期は2年、令和4年度の委員総数は9人（定数10人）である。

### 令和4年度開催状況

回	開催日	内 容
1	令和4年5月31日	(1) 協議事項 ①会長・副会長の選出 ②令和4年度多摩市文化財保護審議会の協議予定等について ③多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の推薦について (2) 報告事項 ①多摩中央公園・旧富澤家における Park-PFI 制度の導入について ②都指定史跡用地に関する申し出について ③旧多摩聖蹟記念館の内部塗装工事について ④都指定天然記念物「平久保のシイ」の保存処置について ⑤その他 (3) 多摩ふるさと資料館（見学）
2	令和4年8月23日	(1) 報告 ①都指定史跡用地に関する申し出について ②旧多摩聖蹟記念館の内部塗装工事について ③多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称について ④多摩中央公園・旧富澤家における指定管理者の指定について (2) 協議 ①国登録有形文化財及び都指定史跡の今後の方向性について ②市指定文化財に対する補助金交付基準等について
3	令和4年10月7日	(1) 現地視察（東京都指定史跡「稲荷塚古墳」） (2) 協議・確認 ①東京都指定史跡「稲荷塚古墳」の暫定整備について (3) 報告 ①都・市指定天然記念物の保存処置について ②旧多摩聖蹟記念館の内部塗装工事について



回	開催日	内 容
4	令和4年12月20日	(1) 報告 ①都・市指定天然記念物の保存処置について ②旧多摩聖蹟記念館の内部塗装工事について ③多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称について ④東京文化財ウィーク 2022 企画事業について (2) 協議 ①東京都指定史跡「稲荷塚古墳」の暫定整備について ②市指定文化財に対する補助金交付基準等について
5	令和5年2月10日 (書面開催)	(1) 報告事項 ①市指定天然記念物「シダレザクラ」の保存処置について ②旧多摩聖蹟記念館の内部塗装工事について ③多摩中央公園・旧富澤家事業について ④多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の愛称について ⑤多摩ふるさと資料館における防災に関する取組について (2) 協議事項 ①令和5年度多摩市文化財保護審議会の協議予定等について

## (7) 文化財保護事業

市内文化財の保護・保全を図るため、昭和47年に多摩市文化財保護条例を制定し、昭和48年の文化財指定を皮切りに、文化財の適切な保護・保存に取り組むとともに、文化財の活用のために必要な措置を講じ、郷土の文化に対する市民の理解促進に努め、後世に継承するため、次の事業を実施した。

### ア 文化財映画の貸出・記録撮影

多摩ニュータウンの開発や都市化の流れにより、変貌し消えつつある多摩市の原風景や暮らしを映像にとどめ、後世に伝えるため、昭和54年から撮影を始め、昭和59年度から平成9年度にかけて10本の文化財映画を製作した。文化財映画は無料で貸出を行っている。

令和4年度は、市内で実施した事業等の記録撮影を2件実施した。

## イ 文化財資料の貸出、小・中学校見学対応

学校教育との連携を図り、社会科カリキュラム、総合的な学習等に合わせた文化財資料（考古、歴史、民俗・生活資料）の貸出等を実施した。

また、文化財施設（多摩ふるさと資料館、旧加藤家・旧有山家、旧富澤家、旧多摩聖蹟記念館）において小・中学校の見学対応を18件実施した。

## ウ 指定天然記念物の保存処置（ナラ枯れ対策）

近年、東京地方でシイ類、カシ類及びコナラ等を加害する“カシノナガキクイムシ”の食害により枯死する樹木（ナラ枯れ）が多くなっていることから、都指定天然記念物「平久保のシイ」、市指定天然記念物「スダジイ」2本（連光寺八坂神社内及び一本杉公園内）に対して、被害防止対策として薬剤散布を実施した。

## エ 展示・普及事業

### (7) 「東京文化財ウィーク2022」事業

地域における文化財保護事業の理解推進、地域との連携、文化財の活用等を図るため、東京都全域で行われた「東京文化財ウィーク2022」事業（東京都教育委員会主催）の一環として、企画事業3件、公開事業3件を実施した。

	No.	事業名・展示会名（場所）	期 間	来場者数
企 画 事 業	1	旧富澤家住宅「秋の襖絵特別公開」 （旧富澤家）	令和4年10月29日 ～11月30日	3,834人
	2	特別展「近代の和歌と書」 （旧多摩聖蹟記念館）	令和4年10月1日 ～11月20日	1,948人
	3	都指定有形文化財（彫刻）・木造隨身倚像 （小野神社）	令和4年11月13日	113人

	No.	公開文化財名（公開場所）	期 間	来場者数
公 開 事 業	1	都指定史跡・稲荷塚古墳 （恋路稲荷神社）	令和4年10月29日～ 11月6日	70人
	2	都指定史跡・霞ノ関南木戸柵跡 （熊野神社）	令和4年10月29日～ 11月6日	12人
	3	都指定天然記念物・平久保のシイ （平久保公園）	令和4年10月29日～ 11月6日	45人

(イ) 東京都埋蔵文化財センター共催事業

多摩の歴史や文化財等を学ぶ一端とする講演会を東京都埋蔵文化財センターと共催で実施した。

事業名（場所）	開催日	来場者数
文化財講演会「多摩の古墳探訪」 （東京都立埋蔵文化財調査センター）	令和5年2月18日	84人

(8) 埋蔵文化財発掘調査事業

多摩市内には、土木工事等の開発事業を行う際に届出が必要となる「周知の埋蔵文化財包蔵地」が311か所、設定されている。令和4年度は開発行為等に伴う埋蔵文化財の発掘届（通知）が180件提出された。その中で、地盤改良工事等の地下に大きな影響を及ぼす工事や道路等の恒久的な工作物の設置工事に対して、試掘確認調査を16件実施した。本発掘調査の実施はなかった。

令和4年度埋蔵文化財調査実施状況

No.	工事内容	所在地 (多摩市)	調査日	調査形態
1	個人住宅	一ノ宮4丁目	令和4年4月13日	委託
2	分譲住宅	連光寺3丁目	令和4年4月13日	委託
3	個人住宅	百草	令和4年5月11日	委託
4	個人住宅	和田		職員実施
5	宅地造成	東寺方1丁目	令和4年5月17日～5月19日	委託
6	高齢者福祉施設	和田	令和4年5月27日	委託
7	個人住宅	東寺方	令和4年6月10日	委託
8	宅地造成	和田	令和4年9月8日～9月9日	委託
9	個人住宅	桜ヶ丘1丁目	令和4年9月22日	委託
10	宅地造成	百草	令和4年10月6日～10月9日	委託
11	個人住宅	一ノ宮1丁目	令和4年10月11日	委託

No.	工事内容	所在地 (多摩市)	調査日	調査形態
12	宅地造成	和田	令和5年1月16日～1月18日	委託
13	宅地造成	連光寺2丁目	令和5年1月19日～1月20日	委託
14	個人住宅	東寺方	令和5年2月1日	委託
15	宅地造成	百草	令和5年2月15日	委託
16	集合住宅兼店舗	一ノ宮4丁目	令和5年3月24日～3月27日	委託

## (9) 旧多摩聖蹟記念館管理運営事業

都立桜ヶ丘公園内にある旧多摩聖蹟記念館は、市指定文化財として保護・保存し、展示・見学施設、貸ギャラリーとして活用するとともに企画展の開催、記念館広報誌の発行、多摩市植物友の会との共催による自然観察会等を実施している。同館は市の指定有形文化財であるとともに、東京都の「特に景観上重要な歴史的建造物等」に選定され、令和4年6月には一般社団法人 DOCOMOMO Japan（ドコモモ・ジャパン）による2021年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築264選」に選定された。

※令和4年度は、館内の内部塗装工事のため、令和4年12月1日（木）から令和5年2月28日（火）まで休館し、ギャラリーの貸出も中止した。

### ア 展示等事業

同館の収蔵物である幕末、明治に活躍した人々の書画等の展示や共催事業を実施した。

No.	期 間	事 業 名	来館者数	備 考
1	令和4年4月23日～ 7月3日	常設展 「旧多摩聖蹟記念館いま×むかし」	2,307人	
2	令和4年7月16日～ 9月19日	夏季企画展「春夏秋冬」	899人	
3	令和4年7月30日	夏の子ども昆虫観察会	13人	環境政策課 と共催
4	令和4年10月1日～ 11月20日	秋季企画展「近代の和歌と書」	1,948人	
5	令和5年3月18日～ 8月31日	春季企画展「生誕180年 田中光顕」	765人 ※	

※来館者数は令和5年3月18日～31日の人数

### イ その他事業

事 業 名	内 容	参加者数
自然観察会 (10回)	「多摩市植物友の会」との共催事業 毎年8月・9月を除く毎月第1火曜日開催（雨天中止）	延517人
植物写真展示	「多摩市植物友の会」の協力による植物写真展示	—
広報誌「雑木林」 発行	偶数月に実施事業や収蔵資料紹介、自然観察会の記録等を掲載する広報誌を発行（vol.207～212／各1,100部）	—

## (10) 古民家（旧有山家・旧加藤家・旧富澤家）管理運営事業

一本杉公園内にある旧有山家は、市指定有形文化財として保護・保存を図るとともに、展示施設として公開している。また、旧加藤家は、展示施設及び古民家の特色を生かした古民家体験学習、茶会、句会等の団体活動の場として団体に開放している。

多摩中央公園内にある旧富澤家は、文化財として保存・公開するとともに、学習、語らいの場等として、施設の一部を除き団体に開放している。

### ア 展示事業（旧富澤家）

幕末から明治の旧富澤家襖絵と収蔵品の一部展示等を実施した。

No.	期 間	事 業 名	来館者数
1	令和4年7月1日～7月31日	「襖絵特別公開」(夏)	1,368人
2	令和4年9月9日～9月11日	お月見展示	353人
3	令和4年10月29日～11月30日	「襖絵特別公開」(秋)	3,834人

多摩中央公園内の旧富澤家



## イ その他事業

一本杉公園内の炭焼き窯を市民団体に貸出した。

No.	実施期間
1	令和4年11月13日～12月18日
2	令和5年1月15日～2月19日
3	令和5年3月5日～4月9日

### (11) 多摩ふるさと資料館管理運営事業

多摩ふるさと資料館は、文化財を保管するとともに、収蔵展示及び文化財を利用した体験学習、情報発信等を行うことにより、郷土の文化に対する市民の理解促進を図り、後世に継承することを目的に、令和4年4月1日に開館した。資料館には文化財資料の展示を行う「展示室」5室と、市内小・中学生を中心とした社会科見学のオリエンテーション等を行う「多目的室」、文化財資料の収蔵室がある。

#### ア 施設愛称の決定

市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館が、市民に末永く愛され、多くの方に親しみをもって利用していただけるよう愛称を公募した。施設来館者による投票を行い、最多得票数を獲得した以下の愛称に決定した。

【施設愛称】「KITAKAIさんぽ館」（簡易表記：キタカイさんぽ館）

#### イ 実施事業

No.	期間	事業名	開催場所	来場者数
1	令和4年8月19日	夏休み子どもイベント2022 「みんなで昔のくらしを知ろう！」	多目的室 他	3人
2	令和4年11月1日～ 11月25日	キタカイフェスタ実施イベント 特別展示「『ハレの日』の衣装と道具」の解説	多目的室	281人
3	令和5年3月5日	キタカイ防災フェスタ実施イベント 展示室5の解説（消防に関する資料解説）	展示室5	105人

多摩ふるさと資料館 展示室の状況



展示室 1

「導入 — 多摩ふるさと資料館へようこそ！」



展示室 2

「埋蔵文化財 — 縄文時代から古代までを中心に歴史を知る」



展示室 3

「暮らし — むかしの暮らしを見る、学ぶ」



展示室 4

「生業（なりわい） — むかしの仕事を学ぶ」



展示室 5

「働く車 — 運搬中心の大型民具を見る、学ぶ」



## (12) 学校開放

多摩市における社会教育振興のため、学校教育に支障のない範囲内で、社会教育活動を行っている団体に昭和50年12月から市立小・中学校全校の学校開放を実施している。

また、社会教育活動をさらに充実させるために、市立中学校全校に設置したクラブハウスを軽スポーツ等の活動を中心に市民の利用に供している。

学校開放事業は、平成26年4月1日から有料化した。使用料は、1時間あたり校庭300円、体育館400円、クラブハウス・特別教室200円、テニスコート300円、校庭夜間照明設備900円（別に校庭使用料300円が加算）、プール1,400円、陶芸窯は1回あたり1,000円としている。使用料の徴収は、団体が事前に使用券を購入し、使用時に使用終了報告書に貼付する方式で徴収している。

### ア 開放施設及び開放時間

開放施設 開放日	開放時間						
	校庭 テニスコート(全中学校)	体育館 教室 多目的ホール	プール (指定施設)	屋根かけ プール (多摩中学校)	夜間照明設備 (3中学校)	クラブハウス (全中学校)	陶芸窯
土曜日 日曜日 国民の祝日 長期休業日	夏期(4月～9月) 8:30～18:00 冬期(10月～3月) 8:30～17:00	8:30～21:30	夏休み中に 限る 9:00～ 16:00	7月～10月 9:00～ 21:30	日没～ 21:30	8:30～ 21:30	8:30～ 21:30
平日	夏期(4月～9月) 下校時刻～18:00 冬期(10月～3月) 下校時刻～17:00	下校時刻 ～21:30			下校時刻 ～21:30		

※ ただし、学校教育に支障のない範囲とする。

※ 学校開放の期間は、1月4日から12月28日までとする。

### イ 開放施設の使用対象団体

原則として、多摩市に在住、在勤又は在学するものが半数以上を占める10人以上からなる団体で、当該団体の責任者として成人が含まれていること（多摩市民等が過半数に満たない場合は、市外団体として規定の倍額の使用料となる。）。

プール施設については、上記の条件のほか、使用するものが社会教育関係団体、青少年問題協議会地区委員会など、教育委員会が認めた団体であり、当該年度に教育委員会が実施する救急救命講習を受講した3人以上の監視員を有すること。

### ウ クラブハウス

中学校全校に設置してある施設で、主に軽スポーツ等に使用でき、社会教育施設として地域での生涯学習の場となっている。

## エ 校庭夜間照明設備

和田中学校、鶴牧中学校、多摩永山中学校3校の校庭に設置してあり、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図っている。主に野球、ソフトボール、サッカー等に使用できる（ただし、天候及びグラウンドコンディションの悪い場合を除く。）。

## オ 開放状況（令和4年度開放施設）

小学校 17校（全校） ・ クラブハウス 9校（中学校全校）  
中学校 9校（全校） ・ 夜間照明 3校（和田中・鶴牧中・多摩永山中）

## カ 使用団体

スポーツ団体	サッカー・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・社交ダンス・ジャズダンス・野球・剣道・卓球・空手・ソフトボール・テニス・体操など
その他	子ども会・青少年問題協議会地区委員会・音楽活動（器楽演奏、合唱他）・幼児育成活動など

※この外、自治会等を単位とした団体が、主にスポーツ・レクリエーション活動に利用している。

### 夜間照明設備付き校庭を使用したサッカー練習



### 学校校舎大規模改修にあわせて改修された和田中学校クラブハウス



### (13) 永山公民館開催事業

#### ア 地域・生活課題を考える事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
1	市民企画講座 市民団体から地域、生活課題等の企画を募集し自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する（提携事業含む）	9～3月	27	集会室 他	640
2	ベルブゼミ 地域課題を掘り起し、継続した学習から課題意識が地域づくり・人づくりにつながるよう実施 ①聞き書き ②在宅医療等の講座	① 9～11月 ② 10～12月	① 4 ② 6	集会室 他	① 72 ② 158
3	地域課題講座 地域の生活課題を共有し解決の糸口を見出すため、コミュニティセンター等の関係機関と共催で開催 ①貝取こぶし館 ②愛宕かえで館	① 6月 ② 12月	2	コミュニティーセンター	① 9 ② 22

#### イ 学校・家庭教育支援事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
4	子育て支援講座 子育ての不安、悩みを参加者同士が共有し学習することを通して、ネットワークを作る機会とする ※子育て応援コンサートを含む	2・3月	2	集会室 保育室 他	78
5	保育室開放デー 保育室を開放して、ゆったりと過ごせる場の提供や、乳幼児とその親同士の交流とともに子育てに関する情報も広く発信していく (ミニイベント含む)	4月以降 毎月 第3月曜	13	保育室	大人 55 子ども 51
6	子育てつどいの広場事業 コーディネーターが常駐し、安心して集い交流できる場を作るとともに、市内団体や保育園などとも連携し、地域の子育て環境の充実を図る	4～3月	23	保育室	172組 大人 194 子ども 187

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
7	小学校PTA連絡協議会共催事業	小P連が企画運営する事業を共催することで広く公民館を知ってもらい、小P連との関係づくりと家庭の教育力向上を目指して開催	1月	1	ヴィータホール	80
8	小学生対象科学等体験講座	学校や地域では体験しにくい専門性の高い講座や、物づくりなど地域の人材と関わり親子で参加体験する講座等を開催し、世代を超え視野を広めるきっかけをつくる ①夏休み ②春休み	① 8月 ② 3月	① 3 ② 2	講座室 他	① 44 ② 135
9	学校や地域と連携した事業	子どもたち自身が体験で学ぶ講座など、学校や地域と連携して地域全体で子ども達を育む意識の普及に取り組む	1月	1	ベルブホール	104
10	家庭教育学級・家庭教育講座	子どもたちの豊かな心を育成していくために保護者に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識を学ぶ機会を作り、家庭の教育力向上を目指す	7～3月	6	公民館 他	164
11	職場体験等の受入れ	市内中学生の職場体験や事業へのボランティアの受入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ ※調べ学習	9～1月	3	公民館内	27

#### ウ 市民・時事問題講座事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
12	障がい者青年教室	心身に障がいを持つ青年を対象に、余暇の仲間づくりや社会参加への一歩を踏み出すきっかけをつくる（美術展含む）	5～3月 (8・9・1月を除く)	8	集会室 ホール 他	245
13	人権について考える講座	一人ひとりがあるため人権の大切さについて学び考え、個性と多様性を尊重しながら地域での実践に結びつけていく (記録映画の上映と交流会)	3月	1	ベルブホール	19

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
14	時事・現代課題講座	時事問題、生活文化等について学習し、知識を深め今後の生活に結びつける（自殺予防対策、環境課題）	3月	3	ホール 他	106
15	市民講座	市民生活に身近なテーマを取り上げ学習を継続し知識を楽しく深め合うことで、地域での豊かな生活に結びつける	11～3月	4	集会室 他	94

### エ 地域（永山駅周辺）活性化事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
16	永山フェスティバル	実行委員会がグリナード永山会と一体になって開催する	9月	1	ベルブ ホール 他	12,293
17	地域イベント協力事業	グリナード永山会と一体になって、関連の講座や鯉のぼり・イルミネーションの飾り付けなどを行い、駅周辺の賑わいづくりをするイルミネーション	4～1月	3	公民館 内 他	—

### オ 市民文化活動支援事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
18	サロンライトコンサート	身近な場所で気軽に音楽に触れる機会と談話コーナーのピアノを活用したコンサート	6～3月	10	ホール	861
19	TAMAシネマフォーラム	TAMA映画フォーラム実行委員会が行う映画祭の支援	11/12～ 11/27	9	パルテノン多摩 他	9,037
		TAMA映画フォーラム実行委員会が行う随時上映支援	2～8月	7	ベルブ ホール	1,816

## カ 情報発信事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
20	公民館通信 「たのしいまち」 の発行	随時	6	—	—
21	ホームページで の情報提供	随時	随時	—	—
22	サークル紹介 カード	毎年8月 更新	随時	—	—



永山公民館と永山図書館がある ベルブ永山

## (14) 関戸公民館開催事業

### ア 地域・生活課題を考える事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者(人)
1 市民企画講座	市民団体から地域、生活課題等の企画を募集し自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する。	10～1月	4	永山公民館視聴覚室 第2学習室 他	39
2 地域貢献講座	地域や生活上の課題を地域とつながり継続した事業や活動で解決していくことを考える。令和4年度は永山公民館「ベルブぜみ」の聞き書きボランティアの講座を地域貢献講座としても位置付けて実施	-	-	-	-
3 VITA ふれあいまつり	地域で活動している団体間のネットワークを構築するとともに、公民館の活動を知り、新たな地域活動へのきっかけを創りだしていく。	8/7	1	関戸公民館 TAMA 女性センター 他	約 2,000
4 地域課題講座	地域の生活課題を共有し解決の糸口を見出すため、コミュニティセンター等の関係機関と共催で開催 ①関・一つむぎ館 ②かるがも館	①②合同 3/29	1	コミュニティセンター	23

### イ 学校・家庭教育支援事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
5 子育て安心講座	安心して子育てに取り組めるような環境づくりのため、主に思春期の子どもへの対応、親の役割を学ぶ	12/21	1	ベルブホール	8
6 薬物乱用防止講座	社会的、教育的に問題となっている薬物について、その怖さや影響の大きさを知る	①3/6 ②3/7 ③3/10	3	①聖ヶ丘中 ②東愛宕中 ③和田中	①82 ②91 ③127
7 家族問題講座	子どもの自立のための生と性などについて、家族として取り組むこと、できることを考える機会とする	2/28	1	大会議室	7

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
8	冬の親子茶道教室	茶道の作法を通じて、挨拶の大切さ、思いやりの心などを親子で学ぶ	12/3	1	茶室他	4
9	職場体験等の受入れ	市内中学生の職場体験や事業へのボランティアの受入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ	通年	3	事務室他	9
10	保育室開放デーの実施	保育室の親・乳幼児の自由な利用により、家族間の交流や子育ての側面的援助をはかる	毎月第1・3水曜日	13	保育室	大人24(児30)

#### ウ 市民・時事問題講座事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
11	関戸地球大学院	環境、貧困、生物多様性など国際的な課題から、地域社会で生起している現象などを市内の6大学との連携で開催し、社会とどう関わるかを考える契機とする。令和4年度は5大学と実施した。	10～11月	6	ヴィータホール	203
12	市民講座	市民生活において必要な時事問題、生活文化等について学習し、知識を深め今後の生活に結びつけていく ①スマホ教室（関戸）②スマホ教室（永山）③スマホサロン ④アラスカとわたし	①②4～6月 ③8～偶数月 ④2/7・14	①3 ②3 ③4 ④2	創作室他	①24 ②33 ③72 ④88
13	現代課題講座	その時々々の課題を捉えたテーマにより、さまざまな角度から課題を見つめる機会を設ける。今年度は事業実施の体制上の理由から実施を見送った。	-	-	-	-
14	郷土史講座	多摩の古代から現代までの歴史を学ぶことを、史跡見学会も含め実施し、郷土を知り、見つめ直す機会とする（たま学びテラスとして実施）	①1/25 ②2/1 ③2/8 ④2/15	4	屋外	①16 ②14 ③14 ④13
15	伝承文化教室	折り紙教室等を行い、文化に親しみ、参加者間の交流も促進する。今年度は冬の親子茶道教室として実施	-	-	-	-



## エ 地域（聖蹟桜ヶ丘）活性化事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者	
16	市民ロビー活用事業	市民団体等とロビーコンサート、催事を行い、聖蹟桜ヶ丘の賑わいつくりや公民館の周知を図る。令和4年度はマンスリーコンサートの中で実施。	随時	1	市民ロビー	90
17	地域イベント協力事業	聖蹟桜ヶ丘地区で行われるイベントに同調してコンサートを実施する。	①4月 桜まつり ②7月 朝顔市	1	ヴィータホール	①76 ②中止

## オ 市民文化活動支援事業

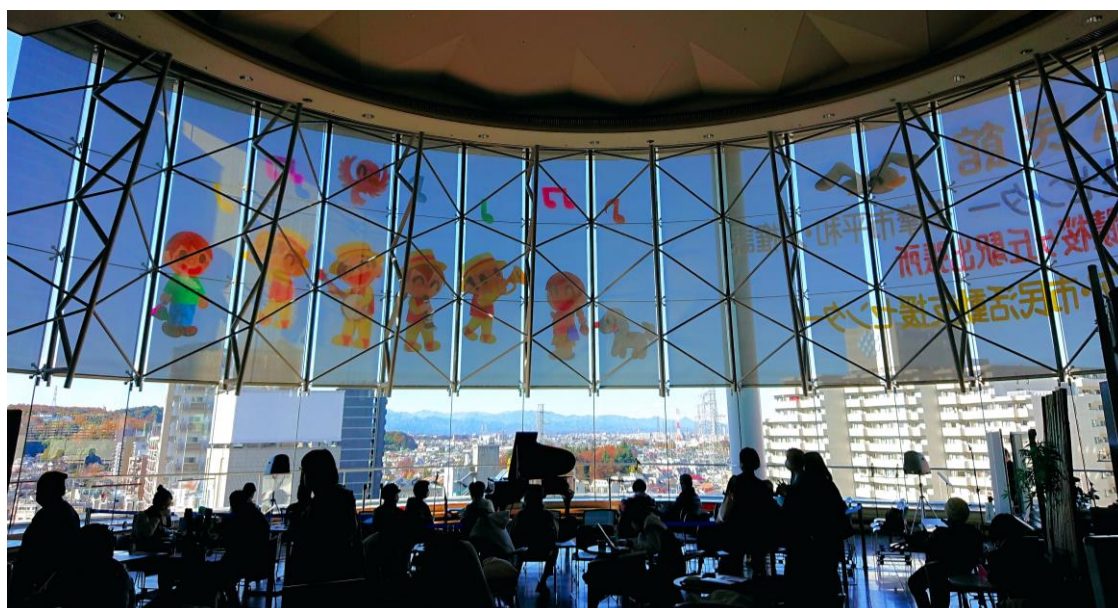
事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者	
18	演劇フェスティバル	アマチュアの劇団が隔月で演劇公演を実施	4～3月	14	ヴィータホール 他	1,185
19	マンスリーコンサート	クラシックを中心に身近な場所で音楽に親しんでいただけるマンスリーコンサート	8～3月	7	ヴィータホール 他	690
20	What's JAZZ	ライブでジャズを楽しめるコンサートの実施	①4/8昼 ②4/8夜 ③9/9昼 ④9/9夜 ⑤12/1昼 ⑥12/1夜 ⑦3/10昼 ⑧3/10夜	8 (昼夜各1)	ヴィータホール 他	①132 ②101 ③145 ④112 ⑤183 ⑥101 ⑦199 ⑧97

## カ 情報発信事業

事業名	内容	実施時期	回数
21	公民館通信「たのしいまち」の発行	市民ボランティアによる公民館の行事や各種情報のお知らせ版発行	年6回発行 6
22	ホームページでの情報提供	事業案内、募集などの情報提供	随時 随時
23	サークル紹介カード	公民館施設利用団体で希望する団体の情報提供を館内に掲示	毎年8月更新 随時

## キ その他連携事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者	
24	「まち歩き」 (再掲)	日野市との連携事業「たま学びテラス」の一環として、ICTを活用しながらまちを歩き、市民の交流と郷土学習の機会とする。多摩ニュータウンエリアの史跡をパルテノン多摩学芸員が、百草～七生の史跡を日野市学芸員がガイドする。(郷土史講座を含む)	①1/25 ②2/1 ③2/8 ④2/15	4	屋外	①16 ②14 ③14 ④13
25	スマホ相談会 (東京都)	東京都デジタル局との連携により、「高齢者向けスマートフォン利用促進啓発事業」として、60歳以上の方のスマートフォン等ICT利用の相談に応じる機会を設ける。	隔月 (奇数月)	6	創作室 他	93
26	都民寄席 (東京都)	東京都との連携により都民寄席を実施し、市民及び近隣の都民の文化イベントを実施。	1/22	1	ヴィータホール	174
27	ふれあいこどもまつり (東京都)	東京都・東京都文化財団との共催による子ども向け文化イベントの実施。	3/4,5	1	ヴィータホール 他	608



ヴィータ・コミュニェ7階の市民ロビー

## (15) 図 書 館

### ア 図書館の概要

多摩市立図書館は、昭和48年の開館以来、赤ちゃんからお年寄りまでのだれもが、気軽に読みたい本や必要とする資料を借りられる図書館をめざして、図書館網の整備と内容の充実に努めてきた。現在は、7つの図書館と1分室のネットワークによりサービスを提供している。

令和2年度に、「多摩市電子図書館」、「多摩市デジタルアーカイブ」を開始し、関戸図書館、永山図書館に、ICタグを利用したセルフ貸出機等関連機器を導入した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3館に図書除菌機を設置した。

### イ 多摩市図書館協議会

図書館協議会は、図書館法の規定により図書館の運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について館長に意見を述べる機関で、委員は学校教育及び社会教育関係者、学識経験者等から組織されている。定数は7人以内で、任期は2年となっている。

令和4年度は、委員7人で図書館の課題について協議した。

### ウ 図書館の開館日等

名 称	開 館 時 間	休 館 日
多摩市立図書館	午前9時30分～午後6時（平日） 午前9時30分～午後5時（土曜日曜）	第1木曜日 国民の祝日・休日
東寺方図書館	午前10時～午後5時	
豊ヶ丘図書館	午前10時～午後6時（平日） 午前10時～午後5時（土曜日曜）	木曜日 国民の祝日・休日
聖ヶ丘図書館		
関戸図書館	午前10時～午後7時30分（平日） 午前10時～午後5時（土曜日曜祝休日）	木曜日
永山図書館	午前9時30分～午後7時30分（平日） 午前9時30分～午後5時（土曜日曜祝休日）	
唐木田図書館	午前10時～午後6時（平日） 午前10時～午後5時（土曜日曜）	月曜日 国民の祝日・休日
行政資料室	午前8時30分～午後5時	土曜日・日曜日 国民の祝日・休日

※休館日は、このほかに年末年始・特別整理日の休館がある

## エ 蔵書

市民の学習・余暇・調査研究など、多様な要求に応えるため、幅広い分野で書籍・視聴覚資料などを収集している。

年度	購入冊数	寄贈等冊数	除籍冊数	増減	蔵書数
30	24,121	3,430	16,174	11,377	756,689
元	23,363	4,265	31,267	△3,639	753,050
2	25,349	3,871	23,325	5,895	758,945
3	26,184	3,806	15,550	14,440	773,385
4	31,225	3,092	12,948	21,369	794,754

## オ サービスの内容

図書館は、資料の貸出、予約及びレファレンス（図書等に対する情報の提供）をサービスの3本柱とし、児童・ティーンズ・障がい者という対象者別でもサービスを展開している。

### (ア) 貸出

#### a 個人貸出

市内に在住、在勤又は在学者を対象とし、貸出期間は原則として14日間。また、京王線沿線七市の連携事業の相互利用協定により、日野、稲城、八王子、府中、調布、町田の市民にも貸出をしている。

#### b 団体貸出

市内の各種団体を対象に長期間まとまった冊数を貸出している。

#### 貸出冊数及び貸出期間

団体	貸出冊数(上限)	貸出期間
読書会・読み聞かせ	50冊	3ヶ月
市立小・中学校	制限なし	1ヶ月
文庫活動団体	500冊	1年
幼稚園・保育園		
市立施設		
民間施設		
児童館・学童クラブ	500冊	

※市立小・中学校への支援

市立小中学校の調べ学習のための図書の貸出を行った。

令和4年度実績

調べ学習等に対する図書の貸出（学校図書館の資料で対応できない場合に1ヶ月貸出）

小学校17校 7,257冊 中学校8校 1,789冊 計 9,046冊

c 協力貸出

他市区町村等の図書館に多摩市の図書館資料を貸し出し、借用すること。

d 利用者数等

(a) 登録者数

単位＝人

年度	30	元	2	3	4
多摩市民	76,453	68,809	39,143	37,530	35,240
在勤在学他	1,981	1,609	586	566	528
日野市民	4,080	3,645	1,768	1,650	1,467
稲城市民	2,046	1,611	695	683	674
八王子市民	8,498	7,551	3,535	3,269	3,013
府中市民	1,415	1,305	625	606	588
調布市民	388	340	126	120	101
町田市民	2,423	2,089	738	683	572
合計	97,284	86,959	47,216	45,107	42,183
多摩市民の登録率	51.4%	46.2%	26.4%	25.4%	23.8%
多摩市民の登録者の利用率	37.4%	40.8%	56.6%	64.8%	69.5%

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度より、「個人利用者データメンテナンス」にて「利用者カードによる貸出及び予約が2年以上行われていない」利用者を「無効登録」したため、登録者数に大きな変化が生じた。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

## (b) 館別個人貸出者数

単位＝人

年度	30	元	2	3	4
本館	139,704	128,777	105,146	131,027	142,654
東寺方	33,641	30,370	24,716	30,789	33,041
豊ヶ丘	59,758	55,635	46,062	56,043	61,847
関戸	137,185	128,434	98,102	128,075	146,754
聖ヶ丘	38,476	36,456	28,749	35,450	39,891
永山	195,039	186,318	141,410	182,466	201,630
唐木田	50,048	49,381	39,532	49,419	53,935
行政資料室	2,410	2,474	2,404	2,885	3,516
合計	656,261	617,845	486,121	616,154	683,268

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

## (c) 館別個人貸出点数

単位＝点

年度	30	元	2	3	4
本館	385,650	358,508	292,178	356,287	338,039
東寺方	89,560	82,043	65,374	81,193	75,495
豊ヶ丘	150,644	140,963	115,147	139,500	134,161
関戸	315,837	293,490	215,623	276,828	290,668
聖ヶ丘	98,385	92,489	72,241	87,118	90,916
永山	456,446	439,716	327,483	405,346	409,774
唐木田	124,952	125,305	100,440	124,539	118,591
行政資料室	4,638	4,991	4,951	5,899	6,186
合計	1,626,112	1,537,505	1,193,437	1,476,710	1,463,830

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

## (d) 対象別貸出点数

単位＝点

年度	個人貸出	団体貸出	協力貸出	合 計
30	1,626,112	26,366	6,683	1,659,161
元	1,537,505	26,912	7,677	1,572,094
2	1,193,437	20,892	6,660	1,220,989
3	1,476,710	19,837	7,502	1,504,049
4	1,463,830	20,236	7,306	1,491,372

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

## (e) 団体貸出の内訳

単位＝上段団体数・下段貸出冊数

年度	市立 小中学校	読書会 読み 聞かせ	文庫活動 団体	幼稚園 保育園	市立 施設	民間施設	児童館 学童 クラブ	その他 学校	合 計
29	26 12,686	35 4,671	2 366	16 3,422	10 1,115	9 408	25 6,676	—	123 29,344
30	26 9,540	34 4,072	2 262	18 3,755	10 1,115	8 492	23 7,102	1 28	122 26,366
元	26 10,326	38 3,752	2 92	18 4,020	8 923	13 694	32 7,103	1 2	138 26,912
2	26 10,938	26 1,156	1 243	13 1,014	9 579	11 352	34 6,597	1 16	121 20,895
3	25 9,089	25 2,069	1 203	12 1,272	7 1,829	12 542	31 4,788	— 45*	113 19,837
4	25 9,046	24 2,450	1 86	13 1,734	9 599	13 1,191	29 5,052	2 78	116 20,236

\*団体種別の振り分けが不明な団体への貸出冊数。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

## (イ) 資料の予約・リクエスト

図書館に資料がないときに、予約（市の図書館では所蔵しているが貸出中のため順番待ちの登録や他館から取り寄せること。）やリクエスト（図書館が所蔵していない資料に対して入手の希望をすること。新規購入や、都立図書館等の図書館から借用を行う。）により資料を提供している。

予約やリクエストにより用意ができた資料は、一定期間取り置きを行っている。

単位＝件

年度	30	元	2	3	4
所蔵資料	403,995	397,283	352,086	420,599	406,076
購 入	3,865	3,581	2,843	3,080	3,234
借用	国会図書館	144	195	123	208
	都立図書館	3,642	3,922	3,276	3,611
	市・区立図書館	4,745	4,703	4,794	5,916
	その他	2,340	2,244	1,714	1,456
情報提供や紹介	106	117	74	65	71
辞 退	18,824	18,469	16,374	20,288	19,899
未 刊 行 等	269	250	13	176	163
取 消	29,023	26,536	24,093	27,832	30,881
そ の 他	1,198	1,431	1,321	1,138	1,190
合 計	468,151	458,731	416,618	484,369	472,217

※借用には、障がい者サービス分を含む。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

#### (ウ) 読書啓発活動

読書や図書に親しんでいただくことを目的として、各種の事業を実施している。

##### a 図書館報「やまばと通信」

図書館のサービス、本の紹介、主要事業の開催などの情報を掲載している。令和4年度は、6回発行した。

##### b 企画展示

図書館で所蔵している図書を紹介するため、季節や時事、話題になっていることをテーマとした展示を各図書館で実施している。

#### (エ) 子ども読書支援サービス

市内のすべての子どもたちが図書館を利用し、すぐれた本と出会えるようにサービスを展開している。

##### a ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業

絵本をとおして親子のコミュニケーションが深まることの大切さを伝えることを目的として、健康センターで月2回行われる3～4か月児健康診査の待ち時間に市民ボランティアと協働で、絵本、ブックリスト、図書館案内などを差し上げている。(令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民ボランティアの活動は休止)未受診者に対しては、市内各図書館、健康センター(訪問事業)において配付を行う。

令和4年度実績 対象者 718人 絵本配付数 715人 配付率 99%(24回実施)



b おはなし会の開催

- ・各図書館で図書館主催と市民ボランティア団体による「おはなし会」を毎月、企画・開催している。（各館でおはなし会だよりを発行）
- ・「ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業」に関連して、乳幼児と保護者を対象に「赤ちゃんおはなし会」を開催している。
- ・平成26年度からは、「図書館おはなしの広場」を図書館外の施設で開催している。（令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

定例のおはなし会の実施状況(赤ちゃんおはなし会を含む)

区分	本館	東寺方	豊ヶ丘	関戸	聖ヶ丘	永山	唐木田	合計
回数	87回	27回	27回	48回	43回	66回	33回	331回
参加人数	581人	194人	282人	272人	396人	292人	341人	2,358人

赤ちゃんおはなし会の実施状況

区分	本館	東寺方	豊ヶ丘	関戸	聖ヶ丘	永山	唐木田	合計
回数	17回	3回	12回	12回	0回	22回	22回	88回
参加人数	64人	48人	72人	71人	0人	52人	221人	528人

c 図書館訪問

市内の小学校(2年生)に最寄りの図書館を訪問してもらい、およそ1時間のプログラムで図書館の見学、利用案内と読書案内を実施している。

d 布の絵本の購入・展示

障がいのある子もない子も楽しめる布の絵本を市民ボランティア団体に作製を依頼し購入。全館で展示や貸し出しを行っている。

e ブックリスト等の発行及び改訂

各リストは、各図書館で希望者に配布している。また、ホームページにも掲載。

- ・『赤ちゃんから絵本を』（ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付）
- ・『絵本はともだち』（ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付）
- ・『絵本のきろく』（ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付）
- ・『多摩市立図書館がおすすめする絵本のリスト』
- ・『よんでみよう！』1～6年生（市立小学校児童に学校を通じ配付）
- ・『多摩市立図書館ニュース・なつやすみに、これよんで！』1～3年生、保護者用
- ・『多摩市立図書館ニュース・夏休みに、これ読んで！』4～6年生、保護者用（市立小学校児童に学校を通じ配付）
- ・『多摩市立図書館ニュース』中学・高校生用（市立中学校生徒等に学校を通じ配付）

f こどもの読書週間のイベント

「こどもの読書週間」（令和4年4月23日～5月12日）では、テーマを設定して展示を行った。

テーマ：「ご紹介します！学校図書館の取り組み」

第14回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》で展示した、市立小・中学校作成の展示物を、各校の学区の地域館において展示。

g 資料選択

資料の選択は、企画運営担当主査を長とし図書館長が指名した職員による資料選定会議で行い、図書館長が決定する。児童書資料は、子ども読書支援係と各図書館児童担当者が選書している。

h 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の推進

第二次多摩市子どもの読書活動推進計画に続く第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を、平成30年3月に策定した。

策定の翌年度（平成30年度）は、計画推進の体制づくりのため、第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会等設置要綱を制定し各連絡会を開催するとともに、第三次計画に定める具体的な取組みの着実な推進のための「アクションプラン（平成30年度版）」を取りまとめた。

令和4年度は、各連絡会を開催するとともに（推進連絡会2回、小・中学校連絡会1回、市民ボランティア連絡会4回、庁内連絡会1回）、担当部署である図書館、関係課、市立小・中学校の各々は、アクションプラン（令和3年度）の振り返り・更新を行い（令和4年度版の作成）、これに基づく施策の推進に取り組んだ。

i 第14回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》

「子どもと本を結びつける日常の活動を多くの人に知ってもらおう」ことを目的として、グリナード永山と本館で展示（学校図書館、児童、生徒の読書に関わる作品、図書館おはなし会ボランティア団体の活動、多摩市立中央図書館、ビブリオバトル、図書館事業等の紹介パネルなど）、本館でワークショップ、各館でスタンプラリー、特別おはなし会を行った。

展示

会場、開催日時：

- ・グリナード永山（2階どんぐり広場、3階エスカレーター横特設会場）  
令和5年2月25日（土）午前10時～2月28日（火）午後6時
- ・図書館本館（こども図書室）  
令和5年3月6日（月）午前9時30分～3月31日（金）午後6時

ワークショップ

「宇宙の広さって？～ぼくの・わたしの今いるところ～」

実施日：令和5年3月25日（土）午後2時～4時

場所：多摩市立図書館 本館2階 閲覧室

講師：二階堂 恵理氏

参加人数：19名

スタンプラリー（健幸まちづくり推進室と協働で企画、実施）

実施期間：令和5年2月25日（土）～3月31日（金）

対象：どなたでも（主な参加者としては、幼児～小学校低学年とその保護者等を想定）

スタンプの設置場所：図書館各館カウンター（行政資料室を除く）

景品：絵柄のカード（各館ごと）

カード配布枚数：734枚

#### j 子どもの読書に関する主催講座

##### ①「子育てに絵本を！～絵本は子育てのミカタです～」

実施日：令和4年10月28日（金）

場所：健康センター会議室

講師：児玉 ひろ美氏

参加人数：10組

##### ②「絵本の森」

実施日：令和4年11月17日（木）

場所：唐木田児童館遊戯室

講師：図書館職員

参加人数：32人

#### k 学校・他機関・市民等との連携

- ・学校図書館司書の研修会への参加
- ・都立多摩桜の丘学園の総合学習の受入れ
- ・児童館の0歳児、幼児の時間、市立保育園でのおはなし会等の開催
- ・多摩市文庫連絡協議会主催の「文庫展」の開催への協力
- ・情報誌「わくわく通信」への子育て情報提供

#### l 大学との提携

- ・ビブリオバトルの開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面でのビブリオバトルは開催しなかったが、子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の会場で、大妻女子大学図書館サークルOLIVEと図書館職員がPOPを作成し、シールで投票する紙面版ビブリオバトルを開催した。これまでのチャンプ本や紹介された本などビブリオバトルを紹介する展示、冊子の配布を大妻女子大学 図書館サークルOLIVEとの共催で実施した。また、ビブリオバトルでは電子書籍も紹介し、電子図書館のチラシを配布した。

- ・グリナード永山（2階どんぐり広場、3階エスカレーター横特設会場）

令和5年2月25日 午前10時～2月28日 午後6時

- ・図書館本館（こども図書室）

令和5年3月6日 午前9時30分～3月31日 午後6時

- ・ビブリオバトル紹介資料 10冊（うちOLIVEは2冊） 総投票数97票
- ・チャンプ本『狐笛のかなた』得票数21票

(オ) 10代の子どもへのサービス

- ・大人の読書への橋渡しとして、10代の子ども向けの資料の充実を図っている。
- ・企画展示や利用者自身によるお薦め本の展示等を行ない、利用を促進している。
- ・各図書館にコーナーを設置し、本に囲まれた気持ちの良い居場所となるようにしている。
- ・本館では、10代の子どもが集えるテーブルや椅子を配置している。「朝日中高生新聞」の閲覧を継続している。

a 職場体験の受け入れ

次の目的が達成できるよう、中学生（特別支援学級含む）の職場体験を受け入れている。

- ・地域の人との「出会い・ふれあい」を大切にし、思いやりの心を養う。
- ・実際に働き、仕事について学び、マナーや礼儀作法などの社会性を身につける。
- ・職場での体験を通して多くのことを感じ、新しい自己発見・自己理解をする機会とする。

(カ) 障がい者サービス

何らかの障がいのため図書館利用が困難な人の読書要求に応じている。

a 録音図書・録音雑誌（テープ・デージー）の作製・提供

音訳者の方々の協力を得て作製した自館作製録音図書が3タイトル、録音雑誌が2誌24タイトル完成した。録音雑誌の「声のやまばと通信」は、PRの手段として作製し利用者へ隔月で送付している。内容は、図書館報「やまばと通信」、障がい者サービスからのおしらせ、録音・点訳図書の新作内容や新しく出版された図書の情報などである。国立国会図書館の視覚障がい者等用データベースに、多摩市立図書館で作製したデージー図書、デージー雑誌のデータ提供を平成26年9月から、点字図書のデータ提供を平成28年2月から開始し、ダウンロードやストリーミングにて利用されている。

令和4年度実績

- ・録音図書(テープ・デージー)

貸出件数	137件
借用貸出件数 (日本ライトハウス、他図書館から)	1,037件
国会図書館データベースダウンロード件数	1,857件
国会図書館データベースデータ提供数	153件

・録音雑誌(テープ・デイジー)

貸出件数	477件
借用貸出件数	265件
(日本点字図書館、他図書館から)	
国会図書館データベースダウンロード件数	1,039件
国会図書館データベースデータ提供数	103件

b 対面朗読

利用者の希望する図書等を直接、対面式で音訳者が読むサービス。

対面朗読室のある永山図書館などで開館時間内、図書館以外の公共施設ではその施設の利用時間内で実施している。

令和4年度実績

実施回数	22回
実施時間数	44時間
利用者数(実数)	2人
音訳者数(実数)	5人

c 点字図書の作製・貸出

平成9年度から始めたサービスで、録音図書の作製と同様に利用者のリクエスト等によって作製し貸出をする。今年度は、点字資料を3タイトル作製した。

令和4年度実績

貸出件数	0件
借用貸出件数	0件
(東京都立中央図書館から)	
国会図書館データベースダウンロード件数	813件
国会図書館データベースデータ提供数	47件

d 宅配サービス

図書館に来館することが困難な利用者が希望する図書・雑誌・録音図書などを自宅や入所施設まで届けている。利用者への宅配と返却本の回収は、おもにボランティアの方をお願いしている。

令和4年度実績

宅配回数	84回
利用者数(実数)	9人
貸出冊数	587冊

e 視覚等障がい者用情報機器

永山図書館に文字等を合成音声で読み上げる機器や、点字ディスプレイ、点字プリンタ、デージー再生機などの情報機器を設置し、利用者・音訳者・点訳者の使用に供している。

f 音訳者等研修会

録音図書や点字図書の作製や対面朗読に関わる音訳者、点訳者の育成講習会や音訳技術の向上を目的とする研修会を開催している。

テーマ：①「地図、図表、写真、イラスト等についての音訳の実際」  
②「調査法の実際」

講師：①遠藤 美枝子氏  
②成毛 由紀子氏

実施日：①令和5年3月7日（火）午後1時00分～4時00分  
②令和5年3月14日（火）午後1時00分～4時00分

会場：消費生活センター講座室(ベルブ永山3階)

参加者：①12人／②11人

(キ) 電子図書館サービス

電子図書館サービスはパソコンやタブレット、スマートフォン等から、多摩市立図書館の電子書籍（小説や実用書、子ども向けの絵本やよみもの、オーディオブックなど）の閲覧・貸出、予約ができ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の中、非来館型の情報提供サービスとして、令和3年1月25日からサービスを開始した。電子図書館を利用は、多摩市立図書館の利用者登録をしている在住・在勤・在学のパスワード登録者。

また多摩市や図書館が作成した広報紙などを多摩市独自資料として電子書籍化し掲載している。

利用状況

年度	電子書籍コンテンツ数	ログイン数	閲覧数	貸出数	予約数
2	4,074タイトル	11,409回	12,195回	4,763回	1,101回
3	6,943タイトル	30,528回	35,880回	12,471回	1,510回
4	6,270タイトル	24,538回	33,712回	11,626回	1,240回

(ク) 地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業(令和2・3年度の2か年事業)

デジタルアーカイブは、図書、出版物、博物館品、歴史的資料等公共的な知的財産をデジタル化し、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組みである。

資料の経年劣化等の理由により一般公開していない図書館所蔵の貴重資料と『多摩市史』等多摩市に関する記録（地域資料）をデジタル化し、「多摩市デジタルアーカイブ」を構築した。

令和2年度の主な公開資料は以下の通り

- ・『多摩市史（通史編、通史編Ⅱ、民俗編）』
- ・市指定有形文化財『調布玉川惣画図』
- ・市内和田・百草遺跡、向ノ岡遺跡の発掘調査で出土した縄文土器5点
- ・市指定有形文化財『関戸文書』や地図、錦絵、和装本など 105点

令和3年度は、市制施行50周年記念事業の一環として、「多摩市内パノラマ映像」「小・中学校社会科副読本」「多摩の民話『おしゃもじさま』」他3点、「多摩の郷土写真」『多摩市市制施行50周年記念誌』を新たに公開した。

小中学校学習用コンテンツでは、「小・中学校社会科副読本」の他に『多摩市史』、『調布玉川惣画図』、『縄文土器』など、子どもたちの学習、多摩地域の歴史研究に役立つデジタルコンテンツをまとめて掲載し、授業、家庭学習、調べ学習などで活用できるようにした。

多摩市内パノラマ映像では、市内3か所（多摩市役所、多摩市立図書館本館、東永山複合施設）の上空から空撮したパノラマから、小・中学校の写真や校歌の紹介、市指定文化財や多摩市の特色である緑豊かな公園、数多く設置されている橋梁、ニュータウン開発区域の住宅地を紹介した。

又、昭和初期に建設された歴史的価値のある市指定有形文化財「旧多摩聖蹟記念館」、江戸時代の建物と推定される多摩市の典型的な農家住宅「旧加藤家」等を立体映像で紹介した。

多摩市デジタルアーカイブの構築にあたっては、公益財団法人図書館振興財団の助成金を活用した。

令和4年度は、中学校社会科副読本「のびゆく多摩市」の改訂版を公開した。

#### (ケ) 京王線沿線七市の図書館連携事業

平成20年4月1日から、京王線沿線七市連携事業として、八王子、府中、調布、町田、日野、稲城、多摩市の図書館で相互利用を開始した。それまで、日野市、稲城市と相互利用の協定を結んでいたが、その範囲が七市に拡大された。サービスの内容や利用方法は各市で定める条例、規則等に基づいて実施され、予約などのサービスについては一部制限があるが、多摩市民は京王線沿線七市の図書館を利用できる。

### カ 中央図書館整備の状況

#### (ア) 平成28年度：図書館本館再構築基本構想の策定

学校校舎を暫定活用している現在の本館の恒久整備に向けた第一段階として、平成28年6月から、本館・分館のあり方を含めた全市図書館システムの再構築と、全市の図書館サービスの充実を支えつつ、高度専門的な情報や多様な活動の場を提供する中央図書館について検討し、これらを平成29年3月に「基本構想」としてまとめた。検討にあたっては、基本構想策定委員会を設置し、策定委員会の審議とあわせて市民団体のヒアリングやパブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。この基本構想を、中央図書館の整備に向けて、今後策定を予定する諸計画の基本的方針とする。

(イ) 平成29～30年度：図書館本館再整備基本計画の策定

基本構想で示された将来像、検討課題を踏まえ、新本館の運営やサービス、資料、機能に応じた必要な施設の概要、整備費用の概算などについて、平成30年2月から検討し、これらを平成30年8月に「基本計画」としてまとめた。

検討にあたっては、基本計画検討委員会を設置し、検討委員会の審議（全8回）とあわせて市民団体のヒアリングや市民フォーラム、パブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。

(ロ) 令和元年度：図書館本館再整備基本設計の完了

基本設計は、建築技術面の検討として、平成31年2月から検討を開始し、基本計画で示された方針と整合させながら、ワークショップや市民説明会の市民意見も参考にして、令和元年7月にまとめた。同年8月からは、基本設計を基に、今後の中央図書館建設工事に向けて、さらに内容の具体化・詳細化、発注図書の作成等をするプロセスである実施設計に取り組んだ。

(エ) 令和2年度：図書館本館再整備実施設計の完了と中央図書館建設工事等の契約締結

中央図書館整備に向けて、昨年度から取り組んできた実施設計は、令和2年5月に完了した。実施設計を基に中央図書館建設工事と付帯工事3件（計4件）の入札手続きを行った。一旦は入札不調となったが、再入札と契約議決を経て、令和3年3月15日に契約締結した。入札不調に伴い、開館予定を令和4年11月から令和5年5月に変更した。

(オ) 令和3年度：中央図書館建設工事の開始

中央図書館の建設工事は、令和3年4月10日に市民参画による「樹木伐採起工式」を実施して以降、本格的に着工した。本起工式は、建設工事のスタートであるとともに、中央図書館の整備により伐採した多摩中央公園の樹木の有効活用事業（中央公園のみどりの記憶をつなぐプロジェクト）にも位置付けている。伐採木を活用したイベントとして、令和3年7月31日・8月1日には小学生以下を対象に木工体験講座「つくってあそぼう！木のおもちやづくり」、令和4年1月15日・1月29日・2月13日には全3回連続講座「炭やき体験講座」を開催した。

建設工事では、主に伐採工事・掘削工事・基礎工事を進めた。掘削工事の土砂処分及び既設埋設物の対応に遅れが生じたため、工期の延長が必要になった。これにより、竣工を令和4年12月28日から令和5年3月15日に、開館予定を令和5年5月から同年7月に変更した。

(カ) 令和4年度：中央図書館建設工事の完了

令和3年度に引き続き、建設工事を進めた。4年度は主に6月から内装工事、10月から屋根工事及び外装工事、11月から外構工事を行った。令和5年2月末に概成し、諸官庁の検査を経て、3月中旬に竣工、下旬に引き渡しを受けた。



また、開館を見据えて中央図書館の管理運営のあり方をまとめる「多摩市立中央図書館管理運営方針」についても検討した。令和4年5月から検討を開始し、教育委員会や図書館協議会等への協議、市民団体へのヒアリング、市民説明会、パブリックコメントなどを通じて段階的に検討を深め、同年11月に方針を決定した。同方針の決定を受けて、12月議会では図書館の名称や位置等を定める図書館条例を改正するとともに、令和5年1月から3月にかけて図書館関係例規を改正した。

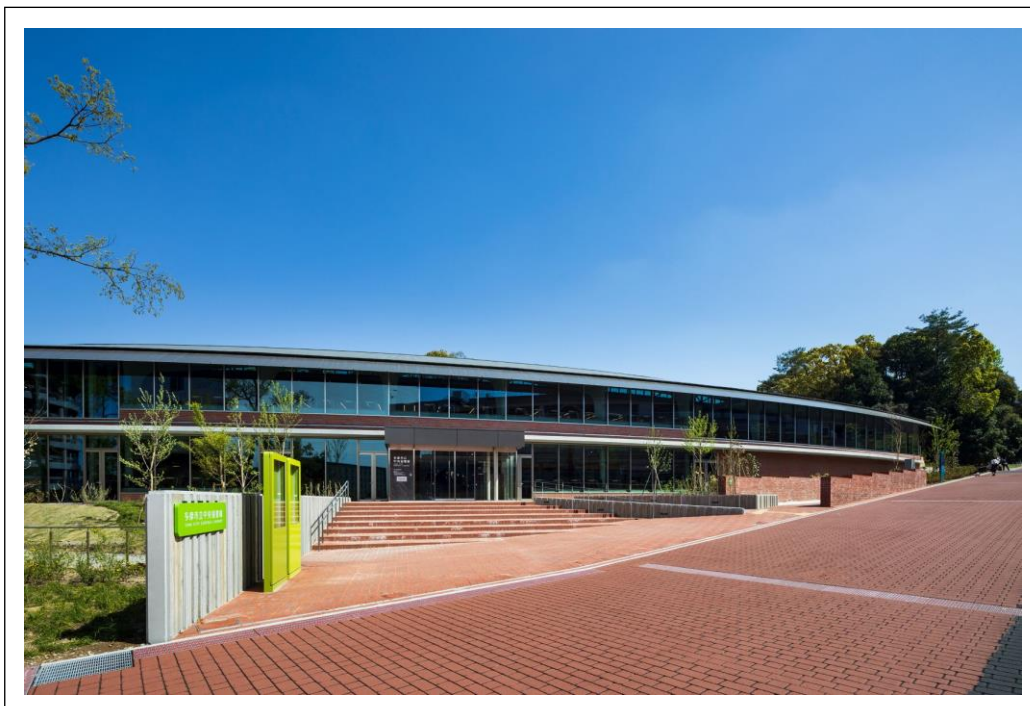
「中央公園のみどりの記憶をつなぐプロジェクト」についても、引き続き取り組み、令和4年7月30日・31日に夏休みの小学生を対象とした「木工ワークショップ（ミニ本棚づくり）」を実施した（参加者：21名）。令和5年3月4日には「中央図書館植樹&中央公園樹木観察ワークショップ」も実施し、公募市民とともに建設工事中の中央図書館の敷地にモクレン・サクラ・ナツツバキ・サルスベリ・モミジの5本の木を植樹した（参加者：25名）。3月下旬には令和3年5月に敷地から伐採したクスノキで制作したテーブル・ベンチ計5台が完成し、中央図書館に納品・設置した。

中央図書館に設置する各種初度備品の納品や本館にある蔵書等の移転については令和4年度中に契約を締結し、年度をまたいで着実に納品・移転されるように準備を整えた。

中央図書館は令和5年4月から開館準備を行い、7月1日に開館する予定である。

多摩市立中央図書館

（撮影：令和5年6月）



## Ⅱ 施設利用実績

### 1 学校開放〔施設別〕

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
体育館	件数	7,366	6,702	770	3,799	6,470
	人数	131,637	124,534	11,648	60,015	119,816
校庭	件数	2,544	2,205	1,409	2,232	2,533
	人数	110,165	96,054	83,605	84,886	92,213
教室	件数	2,338	2,023	112	340	1,065
	人数	46,272	44,052	1,404	5,732	16,927
テニスコート	件数	711	579	341	531	610
	人数	7,801	7,028	3,774	5,895	7,121
プール	件数	10	8	0	0	0
	人数	655	507	0	0	0
夜間照明設備付校庭	件数	481	425	263	381	431
	人数	15,819	15,851	9,253	11,565	14,092
陶芸窯	件数	70	54	8	18	48
	人数	348	290	36	84	207
クラブハウス	件数	5,821	4,958	1,558	3,292	4,505
	人数	71,974	58,378	13,665	29,400	41,075
合計	件数	19,341	16,954	4,461	10,593	15,662
	人数	384,671	346,694	123,385	197,577	291,451

### 2 学校開放〔小・中学校別〕

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校 17校	件数	9,131	8,129	1,727	4,724	7,300
	人数	229,287	212,105	53,830	122,511	183,070
中学校 9校	件数	10,210	8,825	2,734	5,869	8,362
	人数	155,384	134,589	69,555	75,066	108,381
合計 26校	件数	19,341	16,954	4,461	10,593	15,662
	人数	384,671	346,694	123,385	197,577	291,451

### 3 多摩ふるさと資料館

総見学者数 [※令和3年度まで文化財資料室、( )内は多摩第三小学校見学者数]

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
見学者数	623人(63人)	872人(320人)	97人(57人)	107人(53人)	5,106人

### 4 旧多摩聖蹟記念館

来館者数及び使用件数

年 度	来館者数	開館日	ギャラリー使用件数(期間・入館者)
平成30年度	22,110人	238日	1件(H30.4.1～4.8・1,628人)
令和元年度	32,354人	223日	0件
令和2年度	21,423人	192日	0件
令和3年度	12,598人	228日	0件
令和4年度	8,232人	186日	1件(R5.3.3～4.2・1,210人(3.31までの入館者数))

※令和4年度は内部塗装工事のため、令和4年12月1日～令和5年2月28日は臨時休館とし、ギャラリー使用も中止。

### 5 古民家

来館者数及び使用件数

施設名称 年度	旧有山家・旧加藤家		旧富澤家	
	来館者数	団体使用件数	来館者数	団体使用件数
平成30年度	10,953人	53件	29,875人	13件
令和元年度	10,987人	50件	25,238人	6件
令和2年度	10,234人	25件	21,812人	8件
令和3年度	11,588人	32件	24,790人	6件
令和4年度	9,408人	38件	26,611人	2件

## 6 永山公民館

開館日数		休館日数
平日	221	
土 日・休	51 65	

施設	使用可能件数	一般	市役所関係	主催	計	使用率	使用人数
ベルブホール	1,011	310	116	132	558	55.2%	26,001
第1音楽室	1,011	814	12	18	844	83.5%	7,942
第2音楽室	1,011	750	2	12	764	75.6%	1,898
集会室	1,011	805	6	47	858	84.9%	11,968
学習室	1,011	783	4	19	806	79.7%	5,536
視聴覚室	1,011	617	37	56	710	70.2%	9,046
創作室	1,011	698	7	1	706	69.8%	4,841
和室	1,011	791	13	2	806	79.7%	4,681
第1保育室	1,011	17	9	132	158	15.6%	1,282
第2保育室	1,011	35	12	88	135	13.4%	806
ギャラリー	1,011	420	126	201	747	73.9%	-
計	11,121	6,040	344	708	7,092	63.8%	74,001
前年度	10,425	5,112	364	626	6,102	58.5%	51,218

## 7 関戸公民館

開館日数		休館日数
平日	220	
土 日・休	52 66	

施設	使用可能件数	一般	市役所関係	主催	計	使用率	使用人数	
ヴァイタータ・コミュニネ	ヴァイタータホール	1,014	281	96	110	487	48.0%	28,154
	大会議室仕様	238	74	116	48	238	100.0%	2,575
	第1学習室	550	188	13	17	218	39.6%	2,196
	第2学習室	550	132	13	17	162	29.5%	1,659
	第3学習室	1,014	595	65	25	685	67.6%	6,719
	和室1	1,014	491	19	17	527	52.0%	2,927
	和室2	1,014	380	19	19	418	41.2%	1,675
	茶室	1,014	194	5	14	213	21.0%	1,142
	スタジオ	1,014	472	37	74	583	57.5%	4,805
	創作室	1,014	743	1	20	764	75.3%	5,435
保育室	1,014	11	13	31	55	5.4%	169	
ギャラリー	759	213	129	27	369	48.6%	-	
計	10,209	3,774	526	419	4,719	46.2%	57,456	
前年度	8,181	2,443	518	200	3,161	38.6%	26,450	

※使用可能件数は、改修工事期間（令和3年12月～令和4年7月）を除く

## 8 八ヶ岳少年自然の家

ア 宿泊者数（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

単位：人

区 分	未就学児童	小学生	中学生	高校生	大 人	合 計
市 内	93	3,644	2,072	37	781	6,627
市 外	324	922	301	239	1,554	3,340
合 計	417	4,566	2,373	276	2,335	9,967

イ 利用団体数と延利用者数（令和4年4月1日～令和5年3月31日）単位：団体・人

区 分	小中学校	少年団体	一般団体	その他	視察等	合 計
団体数	44	21	316	4	12	397
延利用者数	9,382	2,467	4,543	445	51	16,888

※延利用者数の日帰り利用は「1」、1泊2日は「2」、2泊3日は「3」として集計

八ヶ岳少年自然の家



## 刊行物一覧

名 称	発行時期	発行部数	規 格	頁数	配 付 先	担 当 課
多摩市の教育(令和4年度版) 〔4年度データ及び3年度実績〕	R4年9月	26	A4	168	関係機関	教育振興課
多摩市教育委員会だより	年6回					教育振興課
第81号	R4年5月	15,400	A4	4	各小・中学校、 関係機関	
第82号	7月	15,400	A4	4		
特別号 (たま広報9月20日号1・2面として掲載)	9月	79,200	タブロイド判	1	全戸配布	
第83号	11月	15,400	A4	6	各小・中学校、 関係機関	
第84号	R5年1月	15,400	A4	4		
第85号	3月	15,400	A4	6		
令和4年度多摩市教育委員会事務 点検評価報告書(令和3年度事務対 象)	R4年11月	60	A4	65	関係機関	教育振興課
第二次多摩市教育振興プラン 別冊 令和5年度の取り組み	R5年3月	57	A4	28	関係機関	教育振興課
多摩市立学校児童・生徒並びに教職 員の各種健康診断実施要領 (多摩市学校保健計画)(令和5年 度)	R5年3月	192	A4	163	各小・中学校、関 係機関	学校支援課
中学校社会科副読本 「のびゆく多摩市」	R5年3月	多摩市デジタルア ーカイブで公開	A4	86	公立中学校、他	教育指導課
小学校1年生副読本 「多摩市かがやきブック」	R5年3月	1,500	A4	20	公立小学校	教育センター
多摩市立教育センター活動報告書 (令和3年度)	R4年9月	200	A4	50	関係機関	教育センター
第二次多摩市特別支援教育推進計 画	R3年12月	450	A4	63	関係機関	教育センター
献立表/給食だより	毎月(8月 を除く)	月10,250	A4	2	各小・中学校	学校給食セン ター
きゅうしょくメモカレンダー	毎月(8月 を除く)	月300	B4	2	各小学校 (クラス数)	学校給食セン ター

名 称	発行時期	発行部数	規 格	頁数	配 付 先	担 当 課
雑木林	年 6 回	各 1,100	A4	6 又 は 8	各小・中学校、関 係機関、関係者、 市民等	教育振興課
旧多摩聖蹟記念館特別展図録 「近代の和歌と書」	R4 年 10 月	100 部	A4	28	関係者、関係機関 市民等（販売）	教育振興課
公民館通信「たのしいまち」	年 6 回	各 2,000	A4	6	関係機関、団体、 市民	公 民 館
やまばと通信	年 6 回	各 1,000	A3 二つ折り	4	市民、関係機関	図 書 館
多摩市の図書館 ～令和 3 年度事業報告～	R4 年 8 月	350	A4	96	関係機関	図 書 館
よんでみよう！ 1 年生～6 年生	年 1 回	1、3～6 年 各 2,000 部  2 年 2,300 部	1～4 年 B4 三つ折り  5、6 年 A4 三つ折り		各小学校、市民	図 書 館
多摩市立図書館ニュース・夏休みに、これ読んで！ 1～3 年生、4～6 年生（保護者）	年 1 回	各 4,800 部	A3 二つ折り	4	各小学校、市民	図 書 館
多摩市立図書館ニュース 中学・高校生向け	年 1 回	4,900 部	A3 二つ折り	4	各中学校、市内都 立高校、特別支援 学校、市民	図 書 館

## 各種委員

※敬称略

＜多摩市立学校給食センター運営委員会委員＞

(令和5年3月末日現在)

氏名	選任区分	氏名	選任区分
向井美紀	市立小中学校長代表	斉藤佳久	市立小中学校給食主任代表
◎竹田和彦	〃	塩塚宏治	〃
○平山可奈	市立小中学校保護者代表	横井朱里	公募市民
前田薫	〃	前田有美	〃
佐々木祐	所轄保健所長が指名した者	欠員	〃
土岐田佳子	学識経験者	鈴木恭智	関係行政機関の職員
桃井和馬	〃		
井上雅美	〃		

◎は会長、○は副会長

＜多摩市立教育センター運営委員会委員＞

(令和5年3月末日現在)

氏名	選任区分	氏名	選任区分
○稲垣綾子	学識経験者	齊藤康人	多摩市公立小学校副校長会代表
◎小島徹	多摩市公立小学校校長会代表	矢野尚子	多摩市公立中学校副校長会代表
齊木伸郎	多摩市公立中学校校長会代表	福井識子	多摩市立小学校PTA連合会代表
齋藤幸之介	多摩市立特別支援学級設置学校長代表	杉山真代	多摩市立中学校PTA連合会代表

◎は会長、○は副会長

＜多摩市特別支援教育推進委員会＞ (令和5年3月末日現在)

氏名	選任区分
◎小貫悟	学識経験者
○小島徹	多摩市立小学校長
○齊藤裕	多摩市立中学校長
細谷俊太郎	教育部参事 教育指導課長事務取扱
麻生孝之	教育部 学校支援課長
相良裕美	教育部 教育センター長

◎は委員長、○は副委員長



〈多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員〉

(令和5年3月末日現在)

氏名	選任区分	氏名	選任区分
野々村 剛	学校教育関係者	◎炭谷 晃 男	学識経験者
堀井 義昭	社会教育関係者	西山 規子	公民館利用者代表
布施 栄子	〃	倉品 みゆき	公募市民
細田 雅美	家庭教育関係者	秋澤 友香里	図書館協議会代表
○長島 剛	学識経験者	横倉 敏郎	文化財保護審議会代表

◎は会長、○は副会長

〈多摩市文化財保護審議会委員〉

(令和5年3月末日現在)

氏名	専門分野	氏名	専門分野
青木 敬	考古学	桜井 昭男	近世・近代史
内野 秀重	自然史・植物	◎浜田 弘明	人文地理
江里口 友子	日本美術史・東洋美術史	横倉 敏郎	地域史
加藤 幸治	民俗学・民具学	○渡辺 洋子	建築
鎌倉 佐保	中世史		

◎は会長、○は副会長

〈多摩市図書館協議会委員〉

(令和5年3月末日現在)

氏名	選任区分	氏名	選任区分
吉田 正行	学校教育関係者	◎前田 洋一	学識経験者
高橋 祥子	社会教育関係者	大島 真理子	図書館利用者
○中根 郁子	家庭教育関係者	秋澤 友香里	図書館利用者
深水 浩司	学識経験者		

◎は会長、○は副会長

